京城日報

本紙定價 每號一部金五錢 ▲一ヶ月郵税共前金一圓三十五錢 ▲三ヶ月同三圓九十錢 ▲六ヶ月同七圓六十錢 ▲前金切の節は其旨報告す 郵券代用一割増
廣告料 五號十六字詰一行一圓三十錢 ▲特別二圓六十錢 ▲二號活字…… ▲四號…… 一行二圓

發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 ……
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
電話長六十九番・長六十九番・振替京城四三〇〇番

新年號 解放

……長谷川如是閑
◇工場委員制度に就て……法學博士 高野岩三郎
◇新出の小説家……片上伸 ◇ギルド・ソシアリズムの發難……北澤新次郎
◇オイケンの自傳を讀む……文學博士 桑木嚴翼
◇野蠻か文明か……利彦 ◇自由か強制か……加田哲二
◇一揆の研究……佐野學
◇農民生活の藝術……吉江孤雁 ◇現代文化と勞働爭議……森本博士
◇戰爭より平和へ……ニコライ・レーニン
◇ハインドマンの死……山川均 ◇知識と誤謬……小酒井博士
◇民族鬪爭と社會主義思潮 山川均 伊井敬 滿川龜太郎 堺利彦 岩佐作太郎 上杉愼吉 高畠素之 小牧近江 綾川武治
◇伯林通信 續蝙蝠日記……「解放」特派 黒田禮二
◇卯生砂話……西村眞次 ◇一九二三年の八卦……谷天[illegible]

文壇の革命 正宗白鳥 葛西善藏 廣津和郎 宮島資夫 藤井眞澄 有島武郎 細田民樹 平林初之輔 村松正俊 小川未明

◇傍觀者の獨り言……高畠素之

創作
白色の恐怖……上司小劍
忘れた夢……近藤經一
ある鼻の改造……神近市子
平和の街……マグニツキー
牢獄中の歌手……有島武郎
虚脱者……宮島資夫
小賣商人の子……百田宗治
喜劇 地震（二幕物）……中村吉藏
人と影……小川未明

◇本號特價 一圓五十錢◇ 送料四錢

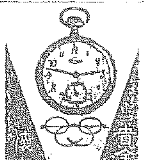
東京・京橋 大阪・三休橋 大鐙閣發行 振替 東京三三六一八番 大阪二七一五五番

最新出版目錄進呈 東京京橋南町 大阪三休橋南 大鐙閣

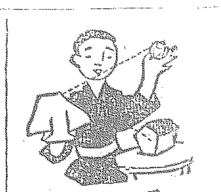
最新刊

堀江歸一 世界の經濟は如何に動くか 一、三〇
奥俊貞 意見調節論 一、八〇
鷹通文藝著 民法解題 一、〇〇
蘇峰音風編 一茶全集 一、七五
岡本一平著 泣虫寺の夜話 一、九〇
原田三夫著 子供に聞かせる話 一、九〇
朝鮮各中等學校入學試驗問題答案集 九〇

京城 大阪屋號 振替京城三五七番 電話六八四番



京城本町二丁目 川合時計店 電話二一九一八 振替京城二二九一



手品（てじな）

正月の興趣に又は學藝會同窓會の席上で諸君が期待に適する現代式奇術・魔術數百種を詳述したる『奇術と魔術』の内容見本一部特に無代進呈す。世に手品程面白きものなし、是を以て彼の無邪氣大食の連中から驚嘆をアッと言はしむる亦痛快ならずや、速にハガキで申込め即時進呈すべし
東京市小石川郵便局第五區内 萬國不思議研究會

矢野テント

宮内省陸海軍御用達
天幕 雨覆 裝飾 貸物
大阪西區日吉橋北 矢野テント商會 電話（長）三六〇 振替大阪八二五四番

舶來 トランプ新入荷
普通形 一圓二十錢
中形 一圓 一圓五十錢
小形 八十錢
送料各一個ニ付八錢
右何れも品切れぬ内に御注文被下度候見本一組送共四圓（目錄の通貨）
京城本町 振替二三三二 ウツボヤ書籍店

御注文 良き靴と鞄
旅行用 鞄種々
東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄商店 電話銀座三五八五 振替東京一〇七七

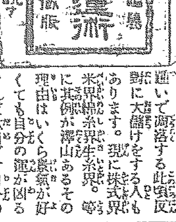
明電舎 モートル 特約店 竹上商店 東京銀座三ノ五 電話京二九六八

日本一の安い 改造生活 讀んで健かに

日本一の安い雜誌 一冊たった十錢！
靜止の罪惡……M E H生
改造の叫び……堀口金太郎
病氣と治療……篠ドクトル
神經系と透熱療法……野上醫學士
物理療法と家庭……久堅醫學士
年末運寒に就き桜田醫學士
と一葉に對する……荒川醫學士
一大醫見
文化と衛生の歌……醫者と衛生の歷史と法規……音樂と醫療、醫學博士と衛炎、電氣醫療應用の趣……世界的間病の好物……
履き違ひ……山崎景明
たいの衛生と石鹸……佐藤蘭花
皮膚衛生と石鹸……S M生
小兒科病院……
藥物療法より……田邊理學士
理學療法へ……黒田醫學士
電氣力家庭……
化粧の所以……勝間舟人
奇妙な御膳……
▲每月一日一回發行▲半年五十錢、一年一圓（郵税共）
東京市本郷區天神町一ノ六六 電話小石川二二八〇五番 振替東京一二三〇番
改造生活社

◇◇運とは何？◇◇
不景氣でも金儲けや成功が出來る
景氣がよくても不運では駄目だ

愈々不景氣が來ました一時の金融の成金運も相場の頭は當りで相場を取る人を出すも通運つい好運が出來ます。現に株式界に大儲けをする人もあります。又米界綿糸界生糸界、又其の例が澤山あるその理由はいくら景氣が好くても自分の運が悪ければ駄目です自分の運勢さへ良ければ世間の景氣不景氣に拘らず誰人でも自分の運は何時開けると云ふことを知るものが出來ます



菊判紙數百六十餘頁定價壹圓（特價八十錢）前金は送料十二錢代金引換は實費で送る

金儲けや成功が出來 運を開く鍵

一代運勢の成否を説明してあります。貴方は何月生れ、又其の男女相性運、生れ月を知り文學子の吉凶、方位、日取り、病氣を早く治す秘法、人相、手相、其他百般の運勢、家相、方位、日取り、の吉凶、運勢、金儲けの運、相場の運、其他必要なる事が六十餘頁に渉り説明してあります。大正十一年の運勢は本書を讀めば一目瞭然

安心立命を得て開運成功を期する人は本書の名に背きません。貴方は何卒一册御注文なさるがよい。

百圓（一册無代で本書一冊進呈す）今回記念の為
東京市本郷區元町二ノ一 振替東京五四二〇 高島易斷所 神德館
無代進呈す

▲大評判の『主婦之友』一月十五日號を御覧ください
▲錦紗風呂敷五千枚贈呈の大懸賞法は本號にて發表

白熱的歡迎の 主婦之友 一月號

▲本號は『結婚及離婚』で若き男女の必讀記事滿載
▲早くお求めにならないと本號も又々賣り切れます

一册金四拾錢・送料一錢五厘

東京神田區表神保町一 主婦之友社 振替口座東京三七八六番

運轉手技手販賣員養成 每月一日十六日開始何人も直に運轉せしめ實習費最低廉必ず卒業證明書を取らしむる組織あり
京城府黄金町三丁目
公認 生徒募集 姉妹校 入學無試驗學則送呈 鮮語授業及校外生教育 航空機科新設
京城自動車學校
東京市京橋區 東京自動車學校 福岡市中島町 福岡自動車學校 大阪西區市岡町 大阪自動車學校 卒業生は鮮内は勿論内地に就職大成を指導す

◇五十三ヶ年の土俵生活 回顧 木村庄之助
◇大錦に與へて杉師學を論す 大錦に與へて秋勝を論ず…… 栃木山は果して老ひたるか……出羽ノ海 太刀光の如きは…… 江口厩來 内田江風 三杉一花 山田旭南 島川七石
◇自重せよ好漢常の花……
大懸賞勝負豫想 懸賞
◇空前絶後の大勝負 ◇相撲の哀れな話 ◇呼出しさんは泣の涙 ◇國技館ローマンス ◇花形力士の敗物語 ◇小錦相撲の祟り
◇春場所 好取組 勝負豫想
栃木山（源氏山）常の花（源氏山） 大錦（大ノ里）太刀光（三杉）……
◇大正十年 夏場所觀戰記 武侠記者
◇明治以來 名力士星取！
◇東京部內力士 入幕以來 星取表！
◇人氣の中心なる 源氏山 種々相
◇源氏の策戰果して如何・小結を得る勿れ・來場所は危急存亡の秋
定價八十五錢 送料三錢
東京芝區南佐久間町 振替東京三〇一〇四六番 武侠世界社

武侠世界臨時増刊 相撲画報

我校の誇り（中學、商業、工業、農業、師範を合せた六百の學校が如何なる大人物を出したか）各學校長回答

武侠世界正月號 事實探偵號

◇探偵小説 科學の脅威 ロオマンピコ合作
變幻を自由に左右することは、過去の時代を通じて世界の夢想する所であつた。この科學小説は實にこうした恐ろしい空想の實現を化學の異常なる進歩が許す日が來るであらうか、興味をそゝる……結論まで讀者の好奇心を緊張させて行かねば止まぬ。
◇探偵小説 竜火王 シエー・マクレー作
余が市民を驚嘆させた竜火王は、今朝の新聞で又第六の犧牲者の名を揚げた、こういふ風に堂々と宣言してから出沒する僕の犯罪常習が現に五人もある、しかも犯人は風の如く捉へる手がかりは全く無い、ラトナー名探偵の活躍は波瀾を極む
◇探偵小説 急行列車の死美人 マツグス・ブランド作
數ヶ月前下の關急行列車中に起つた大事件の謎！未だに依然として迷宮に這入つて居る、今日より見て推理の大傑作に足る感慨を起しめる完全なる大傑作
◇探偵小説 意外！意外！ ベーター作
上海は東洋の秘密境、夜半偶然發見した奇怪事とは、そもそも何であらう
◇探偵苦心の大活躍の如く……
◇探偵小説中の樂……
◇野球選手棚下し……
◇苦學成功手引 給費學校案内
◇求職者は必ず讀め……
◇海外移民……
◇名曲 彌次十八番
定價七十錢 送料二錢
東京芝區南佐久間町 振替東京三〇一〇四六番 武侠世界社

華盛頓會議

潜艦戰に國際公法適用

【華盛頓電報】加藤全權は米國のルート氏提案の潜水艦戰に現國際法を嚴守せしむる原則を承認する旨發表したり

ルート潜艦提案實施決議

【華盛頓電報】海軍委員會は潜水艦に關しルート氏提案の規定を即時實施する決議案に同意せり

潜水艦協定至難歟
四日の臨時閣議

【東京電報】四日の臨時閣議に於て內田外相より山東問題四國協約問題につき議會閉會以後の外交經過を報告する所ありたるが就中潜水艦所有に關しては難點の形勢は成立困難の狀態にあるものと報告せる模樣なり

軍艦廢棄方法決定

【華盛頓電報】三日開かれたる海軍專門委員會にて軍艦廢棄の方法は各國の意に任す事に決定せり

商船武裝制限問題
英、日の提案に反對す

【華盛頓電報】英國側は日本の提案なる商船武裝制限を容れず潜水艦を全廢し又は商船に對する攻擊の原則を確立せざる限り反對なりと聲明したり

海軍協定起草進捗

【華盛頓電報】起草委員は全力を擧げて海軍協定の起草に從事し居れるが右協定は第一條より第十條迄あり頗る廣汎にて今回の會議に論議されたる事項殊に海上に於ける各種事件に關する事項等を規定したるものなり右起草は略完結に近づき居れるが右案は關係諸國の協贊を經て特別總會に附議すべしと

米陸奧を重大視す

【橫須賀電報】橫須賀軍港に碇泊中なる戰艦陸奧は我海軍側の豫想より米國が重大視し脅威と嚇洞とを以て監視し居り今回米國新聞記者連が同艦を參觀し又來る十五日米國より派遣の寫眞班が之れを撮影し同寫眞に依りて誇大的に同艦を紹介するに至らずやとて我海軍當局は憂慮しつゝありと

華府會議終期發表

【華盛頓電報】ヒューズ氏は華盛頓會議は約三週間の後閉會する旨發表したり

支那側折れて出でん
山東交涉再開の曙光

【東京電報】山東問題に對する支那側の態度は曖昧にして容易に忖度し難きも北京政府の代表者は日本側の主張を認め借款鐵道の形式による事に同意し議讓の進捗を計るべしとの訓令を在華盛頓の全權宛發送したりとの北京電報にして事實ならば交涉再開の曙光再び見えはじめたりと言ひ得べし支那は即時贖還手續を擱棄し借款の手續をとる事となれば問題は共同經營、技術員雇傭の問題に移り支那の鹽稅鐵山の經營官有財產等につきて我主張を容るゝ時は帝國政府も自然借款年限其の他の條件等を緩和するに吝ならざるものと觀測せらる

米は再交涉を期待す
支調停希望說を否認

【華盛頓電報】觀察すべき筋の言によれば亞米利加は日支兩國が引續き山東交涉を繼續する樣期待すとの事なるが支那がヒューズ氏及バルフォア氏に對し正式として調停の任に當らん事を求めたりとの報道を否認せり

山東審議五日終結

【華盛頓電報】山東問題日支交涉委員は同問題審議を五日にて終結の旨發表せり

日佛密約公式否認

【巴里電報】佛國外務省は西伯利に關する日佛交換條約なるものは全然捏造なるものなる旨發表したり

佛米の諒解を感謝す

【華盛頓電報】佛國全權サロー氏は米國々務卿ヒューズ氏に回答を送りヒューズ氏が日佛兩國は亞米利加に對抗すべく西伯利に於て戰爭すとの說を否認せるに對し感謝の意を表したり

佛、英佛同盟を提議

【倫敦電報】ブリアン氏は新聞記者に對し英佛間に協約又は同盟を締結して佛國の安寧を確保するは現下の時局に對する急務にて英國に對し考慮を求めたるも未だ右協約又は同盟は締結さるゝの運びに至らずと

電車線路改善

京城の電車は兎角事故が多くて負傷者を出すこと夥しく警務當局に於ても其原因に就て取調べ中なるが差當り氣附いたのは線路が片寄つて居ることであるソコで京電會社へ改善方を勸告せしが會社に於ても其事に氣附居る際とて今後延長の新線路は總て中央に敷設することゝし第一着としては吉野町通りの道路改修を機としこれを實行するとのことである

關稅改正原則決す

【上海電報】支那關稅案は二回の會議の後次の原則を認めたり

一、原則上一割二分五厘迄增加す二、差當り現行五步とし四ケ月內に改正批准を待たずして實行し四年後再び改正し後七年に一回改正す三、右の外別に附加稅二分五厘を加へ奢侈品には更に五分を加へ一割二分五厘迄になし得る事

太平洋米國船舶大合同計畫

【上海電報】米國機關紙の報道によれば米國船舶局長ラスカー氏は太平洋岸の各都市商業會議所宛にハーヂング氏は太平洋に於ける米國商船を運用するため資本三億弗の船舶合同に關して試驗的計畫を裁可したりと打電せりと

借款團米參加交涉

【倫敦電報】英國首相ロイド、ジョーヂ氏は歐洲改造のため國際借款團組織を提議し亞米利加も之に參加する樣希望したるにつき英國は駐英亞米利加大使ハーヴェー氏の回答を待ち居れり

支那新銀行團に賴る

【上海電報】舊年末に際し北京政府は新銀行團代表スチーブンス氏に（此間數字脫漏）支那を加へ五國銀行團とし增稅公債九千萬元發行につき商議中なり其要點は

一、新銀行團に對し從來の不承認態度を改む二、支那は舊銀行團の借款權を新銀行團に移し九千萬元引受を承諾す三、該公債は各種增稅剩餘金擔保の借款償還の外其用途を新銀行團と協定す四、手取り九三五、年利八步七厘償還期限八ケ年每年二回の抽籤にて償還す

軍人勅諭下賜
四十年記念と令旨

【東京電報】四日軍人勅諭下賜四十年記念式擧行され攝政宮殿下より左の令旨を賜ふ

令旨

先帝勅諭ヲ軍人ニ賜ヒシヨリ茲ニ四十年余攝政トナリテ此記念日ニ會ヒ感スル所殊ニ深シ仍テ陸海軍人聖訓ヲ服膺シテ倍々奮勵シ以テ我カ皇上ノ股肱タル本分ヲ盡サン事ヲ望ム

不埒千萬なるは齊多
我好意を無視す＝政府當局談

【東京電報】最近華盛頓にて齊多政府代表者が日佛兩國間の密約なるものを發表して世間をさわがしたるが右密約なるものは跡方もなき捏造文書にして齊多政府は何故故意に日本及佛國を中傷するか殆ど其意を解するに苦しむ所なり日本政府としては齊多政府に對し從來比較的好意を有し大連會議の如きも誠意親善の精神に基き問題に對する彼我意見の相違はあるも大體に於て交涉進みつゝある際此虛報を宣傳するに至れるは不埒千萬にして旅順全權は其虛報なるを宣言し佛國外務省極東局長カンチーレン氏も亦之れを否認し居れるが齊多政府今回の言行は頗る遺憾なると共に在華盛頓帝國全權は更に之を否認聲明すべし云々

休會明けの貴衆兩院

【東京電報】來る廿一日休會明けの貴衆兩議院は

貴族院 劈頭の報告あり高橋首相の施政方針演說、內田外相の外交經過報告演說あり午前限りにて散會し時間あれば當日仲小路廉氏を劈頭に一二の質問應答あるべしと

衆議院 午後一時開議、首相外相の演說並に藏相の十一年度財政計畫演說あり憲政國民兩派所屬より質問をなす筈なるが奧議長寺田書記官長は各派交涉會の議に附したる上翌二十二日日曜日なるにも拘らず質問に入るべしと

衆議院新年宴會

【東京電報】五日の新年宴會に際り宮中に召されざりし貴衆兩院議員に對し酒饌を賜はりたるを以て衆議院は午前十一時院內食堂に新年宴會を催し粕谷副議長寺田書記官長を始め在京代議士三十餘名出席粕谷副議長は『本日は御都合により酒饌を賜はりましたから有難くいただきたい』との挨拶を陳べ新年の祝辭あり同氏の發聲にて　陛下並に攝政殿下の萬歲を三唱し粕谷副議長寺田書記官長は直に參內御禮を申し上げ正午散會

愛知補缺選擧

【名古屋電報】愛知縣補缺選擧は十七日執行さるゝ事となり憲政派は內藤傳六氏、政友派は大島卯吉氏を出馬せしむべし

總督外交團招待

齋藤總督は六日午後七時在京城各國

華府會議秘密會片々（五）
華府にて特約員　上田碩三

極東委員會が支那要求に對し全く同情を有しないとは未だ必ずしも斷言する事は出來ないが、米國側の態度は、若し支那の發言をあまりに自由ならしむるに於ては其要求が無限に議事の進行を妨ぐる事を豫斷して成るべく之を抑壓せんとするの風は明瞭であつた、殊に其の云ふ所は列國の既に業に詳知して居る所から彼等の耳には一向に響かなかつた。廿二日の委員會に於て支那領事裁判撤廢に關する支那全權の長談議に會するや、議場は全く懈氣藹々の狀態を呈した。多辯なる支那の青年外交官は巴里會議に於て、當時光れ輝いたウイルソン大統領に『マイ、プレシデント』と云つて、兎も角も成功を博した。但當時米國の新聞は我が牧野全權が此青年外交官の爲にヤリ込められた樣に謳いたのもあるが、支那に牧野男が此青年を向ふに廻して議論を戰はした譯でもなければヤリ込められたなどは全くの嘘だ。クー氏は今度領事裁判撤廢の提唱に當つて英のバルフォア氏を指して『マイ、オノラブル、ヂスチングイッシェド、ユリーグ、ミスター、バルフォーア』と呼んで機嫌を取つた。而も御本尊のバ氏はウツラ〱と居眠つた、佛國全權の間には大きな鼾聲さへ聞へた。恐らく此演說に對する比較的最も熱心なる聽者は獨り日本側のみで、日本側はクー氏の演說終るや、埴原全權起て頗る同情ある演說をして支那の爲めに後援した。『日本も近年迄支那と同一の狀態に置かれた。故に吾人は特に支那の主張に同情を有する』と此の演說は大分列國委員の間に評判が好かつた。

支那の混亂狀態が恰も極東委員會の議題に後々として暴露された事は支那全權の爲めには誠に氣の毒であつた。華府會議が折角支那の獨立を確保せんとする一方、列國は支那に於ける外國人の生命財產を保護する爲め軍隊を急派せねばならなかつた。北京が暴徒の爲めに圍まれ、交通機關が全く阻害されたと云ふやうな報道は支那官憲が之等の報道を抑壓せんとする努力と正反對に華府會議の空氣を暗くせしめた、就中支那政府の借款利子不支拂の報道は殊に米國々民に惡印象を與へ國務省の御大は新聞記者の質問に對し『他人に借りた金の利子を拂はないやうな人の信用が如何なものか僕に尋ねるまでもないではないか。國家と雖も個人と同樣だ』と臆面もなく言ひ放つた。之等事情の累積は支那全權の爲めには遺憾であつたが、吾人の國家的見地から觀れば寧ろ之を幸とせねばならぬ。蓋し斯くして獨り支那の國民の爲めに諒解せられ其の結果支那國民の爲めに幸福なる將來を齎す事は勿論、所謂支那の主權も財政も而して之を要するに東洋の平和の確保は斯くして始めて得らるるのである。而も以上の如き事態を背景として支那全權が領事裁判を撤廢するは極東委員會の如何なる勇敢なる努力も之に若かず、支那全權の發言に幾度か肩を揺かして兩手を投げて吐息をつくのは無理からぬ。殊に支那の郵便制度や駐在軍隊や警察問題に對する支那全權の發々しい說明に入るや議場には倦怠的空氣漲り日本全權が之に謹聽して機を見て發言する外列國の委員は頗る冷淡で、此際恐らくは正に日支會議の觀を呈した。支那全權の長廣舌が濟んでから、ヒューズは『そんな長い演說は謄寫して各委員の手許に廻附して貰いたい充分研究する餘裕もあらう』と冷やかした。又支那全權が『更に細目に亘りて明日の會議に於て提議せん』と云へばヒューズはそんなことをやられては堪らぬと云つた風で。同一の事を二日に跨るなどは尙の事だと浴びせかけた。本會議の劈頭支那の南方政府を認めない事は自明の事とされてゐたに拘らず佛國委員から『南方政府を如何』などと切り出して一寸議場を緊張さしたのも恐らく眠氣醒ましの一插話であつた。

總督記者團招待

齋藤總督は七日午後六時在京城各新聞代表者外三十五名を官邸に招待し晚餐會を催せり

保留金鑛開放說

總督府保留金鑛として每年一ケ所五萬圓の豫算を以て多年採鑛せる咸鏡南道新興、平北義州三ケ所中義州は往年採鑛を中止し新興、遂安の兩鑛も今や全く之を終へ埋藏鑛量も明かにし鑛量も推定するを得たる方鮮內金鑛中最良鑛と確定せるを以て當局は其處分方に就き考慮を拂ひ昨年臨時議會の產業調査會にも諮問し之を開放して民業に移さん計畫なれば某社の如きは將來を見越し既に拂下運動に著手せりと云ふ同鑛山の拂下價額は果して幾許なるを知らざれども往年の如く鑛業殷賑時代なりせば優に數千萬圓を唱へしも現時の如き鑛業界の衰頹に陷せる今日に在りては自然評價の低下を來すこと勿論にして或は委任經營又は分配制度の如き條件を以て開放するに至らんかと傳へらる

文化政治を徹底せよ（上）
衆議員議員　井上角五郎

朝鮮は併合以來幾多の變遷曲折が有つたが今や一般の民衆は漸く我が總督政治に心服するの傾向を呈して來た、彼等は現に內鮮平等の政策が實行せらるゝを見、更に進んで各個の生活を向上せしめんとする希望を抱くに至つた、彼等の[illegible]する處は內鮮人平等に在るのであるから總督政治が其實績を示すに當つて彼等は始めて安んじて服從するの一般的傾向を現はして來たのである、最初の總督は專ら武斷政治を以て朝鮮に臨むだのである、同時に朝鮮の民衆を壓服するを主眼とせられたる如き感がある、これなどは余も亦事情の止むを得ざるものであつて然りしものと信ずるのであつて、一概に寺內總督を批難するに非ざれども當時朝鮮の民衆は官吏たる事甚だ難く假令官吏となるも待遇は內地のものと大に異つたのである、又事業を經營するや到底內地のものと競爭する能はず斯の如くして徒に

歲月を經過し朝鮮の民衆は漸く不平を抱き怨嗟を增し頻りに昔日伊藤公の統監政治に憧憬したが併合以來十年に近き一昨年の春に於て遂に所謂獨立騷動の起るに至つたのである。朝鮮にて獨立騷動ありしは巴里の平和會議に於ける民族自決の問題ありしを奇貨として在外の不逞鮮人在內の外國宣敎師の一部が一般の人民を煽動せしより起つたのである、人民の意志さへ發表すれば獨立は自ら能きるものと信じ處々に集合して頻りに萬歲を唱へたのである、洋析宗敎會社の移民せし地方又は氏に對し官吏に對し平常の怨みを抱いて居つた處の地方にては往々にして火を放ち人を殺したけれどもこれを外にせば所謂示威運動といふに止まらなかつたのである。而して朝鮮の獨立を聯盟會議が承認せざるを知るや、民衆の多數は騷ぎし事に加はりしを後悔するに過ぎなかつた、若し內地の人民と同一の取扱ひを受くる能はず永久に樺太の土人と同一に見做さるゝ程ならば寧ろ內亂を起し日本の覊絆より脫するに若ずと、少壯血氣の者の如きは頻に覺悟するに至つたのである、彼等は昔日の朝鮮政府よりは優しでありと云ふ位にては最早滿足せぬ事となつた、之を要するに今後に於て吾々は第一に朝鮮の

言語歷史を重んじ其人民の人格を認め第二に其の人民の希望を詳かにして以て之れに副ふ事に力め、言ひ換へれば內地の人民と始めて平等の待遇を受けしむれば再び統監政治の昔日に於けるが如き、人心の緩和を見る事は能きぬのであらう、獨立騷動より事が起つたに過ぎずして[illegible]過去の事實に鑑みるけれども、此儘にして推移せば人心惡化の結果は救ふべからざるに至るかも知れぬ、齋藤水野兩氏の責任も又大なりと云ふの外はないのであるとは余の騷擾以來の意見であつた。

革命期に在る朝鮮（一）
建設的、積極的、進步的大變動
法學博士　松井茂

朝鮮最近二十數年間の變遷は頗る著しきものあり余は十數年前彼の地に奉職し居り此頃久しぶりに彼の地に遊び其の近況を察するを得たるが

大體に於て近代の朝鮮は之を四期に分つ事が出來よう第一は舊韓國政府時代第二は統監政治時代第三は寺內總督時代第四期は現在の文化政策時代である第一期の時代は朝鮮が混沌時代であつた事は云ふまでもない又內地人の彼の地にある勢力も甚だ少なく京城の如きは僅かに數百の居留者が居りたる位にて[illegible]

噴々の聞へある[illegible]

釜山の例に照して見ても解る[illegible]施さるゝや下關と釜山の間には堂々たる汽船が通ふやうになり時刻を違へずして釜山に到達し得るやうになつたのである加之に釜山より京城迄には京釜鐵道の工事も竣成し之れ亦短時日にして京城に達し得る樣になつたのである茲に於て

釜山は內地と京城の間に介在し兩方面より挾み討とされる形勢を呈するに至つたのである之に續いて國產は續々釜山の關門に來るにつれ釜山の人々はフロックコートやシルクハットを被ぶり洋に公德を重んじ他に笑はれない樣に注意を拂はねばならぬ樣な緊張なる空氣を感じ來つたのである[illegible]ふるに至つたと同時に釜山の人々も[illegible]であると斯くの如き見地より余は伊藤統監時代を以て朝鮮事情の一大革命と斷定せざるべからず[illegible]

るのである第三期は寺內總督の時代にして此の時始めて日鮮兩國が併合せられたのである然しながら此の時代を完成するに至りたるは全く故伊藤公又は其れ以前よりの先輩が併合に貢獻せられたるものと云はざるを得ない而して此の時代に於ては特に道路の改修に付て力を致され殊に本位の警察制度を創設されたる如きは特に注意すべき現象である

人道の正體（一）
丘博士講演抄錄

古來洋の東西を問はず吾人々類が共同生存を爲す上に缺く可からざるものとして立てられたる『人道』なる語がある、此人道なる語も、世に便宜のため其意味を判然と定めずに廣く語が幾等もあるのと同じ樣に、意義の判然せぬ語である、然しながら一般に個人の間に用ゐる時には人道なる語は『多少の勞力或は金錢を犧牲しても他の人或は人に近き動物の苦しみを減ずること』即ち利他同情の行爲を意味する樣に見受けらる故に此所には專ら此意味に於て人道なるものゝ正體を少しく論じて見たいと思ふ

先づ第一に右述べた樣な人道なるものは實際此世の中に存するものであるかそれとも幽靈の樣に單に人の噂だけに止まつて實際にはそんなものは存して居らないものかと考察して見るに、若し果して人道なるものが現實に存在して各人がこれを行ふとしたならば世の中には少しも爭ひ喧嘩と云ふものがなくて實に平和樂の黃金世界であるべき筈である、然るに世の實際を見ると全く其反對で他人はどんなに迷惑しやうとも自分さへ都合がよければ構はないと云ふ遣り口で、大にしては國と國との戰ひより小にしては電車や汽車に乘らんとする爭ひに至るまで他人を蹴飛ばし他人を踏み躙しても、只自分さへ先へ進み出て目的を達すればよいと云ふ有樣で、法律の制裁だになくば、我が利に[illegible]んが爲に、他人を打ち殺すことをも敢て辭せぬと云つた樣な人が到る處に充滿して、實に人間とは利己心の結晶かと思はれる程である、故に斯かる方面のみを見ると人道なるものは果して現世に存在して居るものであるかどうかと云ふ疑ひを起さゞるを得ないのである

然しながらまた廣く他人の行爲を觀察し、且自分の內心を省察して見ると他人の悲しみを聞けば共に悲しくなり、他人の苦しみを見れば、これを救ひたく思ふと云ふ樣な所謂利他同情の心の存在して居ることも確かな事實である、此心は決して表面の飾りでもなく敎へられた結果でもない實に天然自有の性質である、其程度は人々によつて決して一樣ではないが、兎に角或る程度に於て何人の心中にも斯かる心性の存することは否むべからざる事實で、これが即ち所謂人道なるものゝ源であらう現今の有樣から考へて見ると人間には利他同情の心よりも利己勝手な心の方が多量に存することも斷言し得らるゝであらう、約言すれば人間の心は九分九厘まで利己心で殘るたつた一厘が利他心であると見られる斯くの如く人間には利己利他の二つの心が同時に兼ね備はつて居るのであるから、其爲すことには非常な矛盾がある、一艘で四萬噸の軍艦を造り而して數百の將卒を一時に殺す爲の大砲や水雷を盛に製造して居る傍らには、敵の負傷兵までも懇切に救護する計畫をして居る、政治の競爭では他人を殺す程までに苦しめて平氣で居るかと見ると[illegible]を救護するための病院建築に大金を出して惜まないと云つた風の矛盾の例は數限りもなく存在して居る、實に人間の爲すことは矛盾だらけである、それ故戰爭に今此の有樣だけを見ると、人間なるものは不可解のものである。倫理學の議論も此不可解的の謎を解かんとの苦心から起るのである

さて詳細に人間なるものを觀察すると、人間の生活の實に不可解なのは、單に其行爲のみではない、其身體の構造に於ても幾多の謎がある、例へば耳殼を自由に動かし得る人は殆ど無いにも拘らず、どの人にも耳殼を動かすべき數個の筋肉がある。又胎內發育の途中に於て一時頸の兩側に魚類に於けると同樣な鰓孔が出來て、後には閉ぢて消えて仕舞ふ。其他猶數十の謎が人間の身體には見出されるが、これ等は人間の現在の身體のみから考へて居るから不可解なのである

今少し廣く他動物を比較研究して見ると從來の此謎も段々と解けて來る、これは例の英國生物學の大斗たるダーヴィン氏の首唱した所の生物進化の大原理に照して考へて見ると能く分る、これは獨り身體に關する謎のみならず人間行爲の謎も略ぼ此原理に依つて解くことが出來るのである

即ち人間も總て他の動物と共に同一の先祖から降り、同一の進化の法則に從ふて今日の狀態にまで變遷して來たものである、以上其行爲を研究するに當つても先づ身體を研究すると同樣の方法を採り廣く全動物界を見渡して彼此相比較し人間をも其一部と見做して、研究する外に到底解釋の途はない

眼界を廣くするほど思想が公平になつて、一部を過重するの謬りが減じ終に眞理を發見するに至るものであるから、今後人間の行爲を研究するには宜しく此方法を採るべきであらうと思ふ

十年度郵便貯金狀況
九年度より二百七十萬圓增加

朝鮮に於ける郵便貯金は累年增加の好成績を示し九年十二月末日現在人員百三十九萬四千三百六十六人金額一千六百十八萬八千八百九十二圓に比し十年十二月末に於ては人員百四十九萬八千五百九十二人金額一千八百九十三萬八千四百八十四圓即ち金額に於て二百七十四萬圓の增加を示せるが近時朝鮮人の

增加著しきものあり彼の大正八年三月騷擾事件以來漸次減少の傾向を示したるが其後各道當局に於ける組合設置獎勵其他貯金思想

の宣傳其他諸機關に於ても貯金獎勵各種のポスター宣傳等に依りて內地人は勿論鮮人に於ても漸次九月より異常の增加を示すに至りたることとなるが十年度に於ける

各月の消長を見るに一月より三月頃は減少し五六月に至りて增加せるは六月に於て貯金利子算入の爲め自然的增加に依るものにて八九月に於て再び低下せるが每年十一月十二月に於て必然的に低下しゐたるが十年度の十二月に於て九十萬圓の增加を示せるは注目すべき現象である

勞働者救濟策
吉松京城府尹談

大正十一年の劈頭に何か一つ新規な事業を計畫しようと思つてゐる、それは京城府內に居る勞働者の救濟策を講じたいと思ふ即ち府內には多數の鮮人勞働者が居て實際冬になると每年溫突の薪さへも買ふ事の出來ないものが多い之は都會組織の上から云つても何とか早く救濟方法を講ぜねばならぬ問題であつた而して此の新規計畫案は一つは

思想上の問題を未前に防止しようと云ふ計畫でもある例を引いて見ると車夫人夫等では多數の鮮人が其の收入の半分若しくは四分位しか殘さぬ處が多い之では何ぼ働いたつて人らしい生活が出來るものではないのである、斯くの如き生活上の不安や或は危險な思想に變化して勞資問題なんかも勃發するもので要は彼等を救濟する樣な方法に出でなくてはならぬ之には都市金融組合等に加入せしめ零細な資金の貸出しをなし以て貧民勞働者

生活の改善を圖りたいものである東拓の李珍鎬氏等は此計畫を[illegible]勞働者たらしめんと努めてゐる[illegible]であるが今や思想上の問題が非常に喧しく[illegible]されどうかすると京城附近の勞働者にも此種の險惡な思想が浸潤せないとも限らない之を防止する爲にも內鮮融和の實を上ぐる爲にも是非共鮮人勞働者の救濟策を講ぜねばならぬ

咸興炭鐵總會

咸興炭坑鐵道起工に大關係ある咸興炭坑鐵道株式會社の定時株主總會は一月九日開會する由なり同總會主要問題は鐵道既設工事及權利を二十一萬圓にて森林鐵道に讓渡の件なるが既に監督官廳の意思決定せる上は恐らく總會に於ても異議なかるべしと

澤田知事赴任期

新任咸南道知事澤田豐丈氏は新任地に於ける元旦受賀及事務引繼の爲め獨身咸州に出張二日歸城せるが來る十日夜家族を引纏め南大門發列車にて正式赴任の途に上る筈

竹內局長歸任

二日夜より新義州方面に於ける事務巡察中なりし竹內遞信局長は五日夜歸任せり

工藤道知事張宴

工藤京畿道知事は六日午後六時より自邸に各關係者を招待新年宴會を催せり

人事消息

▲丸山警務局事務官　浦潮哈爾賓方面視察の爲め七日朝南大門驛出發の筈歸任は二十四五日頃

▲石川義一氏　女子高普敎諭より平安南道視學に轉任八日頃赴任

▲木下天永秘書官　六日南鮮地方へ

▲富田安東新任領事　六日入城朝鮮ホテルへ

▲金岡領事　同上

▲植村總督府醫院外科部長　東上中の處六日歸任

▲久我大阪[illegible]常務　六日朝入城朝鮮ホテルへ

▲竹內代議士　同上

▲加納郵便局長　五日群山方面へ

▲山縣悌三郎氏　六日朝釜山上陸十時二十分北行

▲矢野代議士　同上

幸福（創作）
石丸梧平

【上】

『また會ひたくなつたものですから』さう云ひながら澁澤は座についた。

『わたしも今日お伺ひしやうかと思つて居たのです。よく來て下さいました』澁澤は、今日は澁澤が大へん樣子の變つて居ることに、すぐに氣がついた。

『今日は醉つて居ます、どうぞお許し下さい』澁澤もさう云つた。

それからすぐに、如何にもいら〱した調子で云つた『家庭を持つて居ると云ふことはうるさいものでしてね。私は今、女房と喧嘩をして來たのです』

『………』何とも答へやうがなかつたので、お茶を入れながら默つて居た。けれども澁澤が微山に居た時のことが思ひ出された。澁澤は學問もすぐれて居り、議論をする時には生一本に、なかなか強情なことも云つたが。根は大へんやさしい男で、誰からも好かれて居た。

『あの頃は、あなたは大へんやさしい人でした。どうして奧さんと喧嘩などなさるのですか！』

『わたしは決して喧嘩などしたくはありません、けれども女房はまるで無智で、わけのわからぬ女ですから困つてしまいます』

『それならば何も、對手にせずに置かれたら好いではありませんか』

『對手にせぬわけにはいかぬのですが、ついて來るのですからね』

『それならばよけいあなたから靜かにして居られる必要があるのでせう喧嘩をしなければならぬのは不幸なことです』

『いや、それは私も充分知つて居るのですがね……どうもわたしはすぐにかつとしてしまふ質で』馬鹿々々しいと思ひながら

『あゝさうでした』澁澤は、あの頃の澁澤の性質を思ひ出すことが出來た『あなたは正直で、熱情家でしたからね！』

思はず笑つてしまつた。すると澁澤もから〱と笑ひながら。

『笑つてすませることなのですけれどもね、何故私はあんなにむきになるのでせう』笑ひのあとに澁澤はすぐに暗い顏になつた。

『それに女房は、……あゝ無智な女ほど恐ろしいものはありません』

『お子さんがおありになるんですか』

『え、あります。三人もあります。長男だけがさきの女房の子で、今の女房のは、二人とも女子です』

『ぢやあ……』澁澤はその言葉には一寸意外だつた『それでは離縁して居られた方はどうなさいました』

『あの女は逃げて行つたのです。おとなしい女でしたが、あの頃やはり趣の茶屋へ通つて居た男があつたさうで、もうこちらに子供が生れてからでしたが、その男が誘惑に來たのです。どう云ふわけだか女は連れられて行つてしまいました』

『さうでしたか、それはちつとも知りませんでした』

『あとになつてから、逃げて行つた女のことをいろ〱聞いて見ると、その男とは、初めから深い關係であつたらしく……それで、まあそれは止むを得ないことだと、やつとあきらめたのですけれど、その後に來た女房が、これはまた邪慳な女で……先妻の子供をにくむ。わたしだけにはわるくはないのですが……ほと〱困つてしまひましたよ』

妻子を持つたことのない澁澤にはそんな問題の消息は少しもわからぬのだが、山に來て居た仲間うちに、繼母にいぢめられた恐ろしい經驗を話したものがあつたので、そんなことから想像すれば、今の澁澤の苦しみも多少は推察出來るのであつた。

『わたしが酒を飲むやうになつたのは、その爲めです。初めはほんの憂欝を慰める爲めに飲んで居たのですが、この頃ではもう一』そこで澁澤は急にわざとらしく笑つて『昨日は私は、全的生活としての意志の消滅と云ふことを大に論じて居ましたが、その私自身が、實はそんなところから、もう酒には負け切つてしまふのです。へべレケになることが屢々でね、そして大きい失敗をいつも……』

『なるほど』あれからはほんとうに十年が過ぎ去らうとして居るのだ。人間の生活にさうした變化もあり得ることだと思はれた。

改善を要する府の施設

社會事業の遂行を第一にする

京城府尹　葛城最太郎氏談

【京城】初めて府尹の職に就いて以來一ヶ年間の感想は、と聞けば葛城氏曰く遺憾ながら萬事自分の理想を實現する事が出來なかつたと云ふに過ぎぬのを遺憾とする。これと云ふも財界の不況萬般を中心とする府民の經濟状態を顧慮すると、中々思ふ通りの事が實行出來ない。從つて自分は此の一ヶ年は極度の緊縮方針を以て府政を執つた譯である。府尹の後を襲つて是非とも府のために實行して見たいと思つた事項も多々あつたのであるが、僅に府の財政を緩和せしむる事も出來ず、殘念ながら手も足も出ずに一ヶ年を隱忍したのである

予の理想の一端

左の新年の感想ですが幸ひ新年多の難問たる案件も解決する趣案も近く實施する事となり、一方元山と並ぶ間の直通道路工事も實現したし府內の人氣も丸で一新したのである。年頭に當たつて自分の希望を切に感ずるは、十一年度よりは是非とも自分の理想の一端から實現せしめたいことである。幸ひ府內の人氣挽回を機として之を遂せず試みたいのは社會事業の遂行である。即ち

一、鮮人共同宿泊所新設
二、兒童健康診斷所新設
三、青年團の組織
四、人事相談所の改善
五、行路病舍の改善

等に努力をして見たい、殊に新年と共に前記の如き府內の各土木事業が一時に實施されるに伴ひ、各地より勞働者の來集が益々多いに決まつて居るから、此際勞働者の合宿所をも新設し適當な監督者を置いて、其指導感化を立派に解決したいと考へて居る。

枚擧に遑がない

其他府の直接事業としては道路の舖裝、下水の完成、衛生機關の充實等數ふれば枚擧に遑あらずだが、何を云ふにも先立つものは經費であるからよく府民の負擔力を考察して適當な施設を試み京城府の面目を改めて行き度いと思つて居るのである。自分としては社會事業の前に殘響せしもの、如きは、寧ろ之を民間の事業として奬勵し、府が充分之に補助を與ふると云ふ風にするが面白いとも考へて居るのである。幸ひ既設の人事相談所や行路病者收容所の如き何れも意想外の好成績を擧げて居るから今後は益々之を助長して社會に貢獻せしめ度いと思つて居るのである。

總ては積極的努力を要する

新義州府尹　錦織足千代氏談

【新義州】新義州府に於て將來新に施設を要する事業は澤山ある。殊に來る大正十三年度には平安北道廳も新義州より新義州に移轉して來るので道廳所在地としての都市の體面から見ても、國境の都市としての立場から謂つても、新義州としては現在の施設には決して滿足する事は出來ぬ。けれども第一番に要するものは其財源であるが、近き將來に於ては其財源も聊か豫期せらるゝものもあるから、積極的方針の下に邁進せねばならぬ。

第一に市區改正

第一に緊要な事業は新義州市街の市區改正である。今日の新義州たるや鐵道の通り驛前にアカシヤ林があり草原があり、沼澤らしいものがあつたりしては、第一遊來の旅客をして新義州の感想として好い感じは與へないが、幸ひ鐵道附屬地の約一萬坪を官有地に保管轉換して貰ふ事になつて居るから、先づ驛前一帶より新市街全部に亙る市區改正を斷行したいとの希望を有して居る。

水道設備の改善

次は上水道の施設であるが、今日の上水道は一人當り一日平均二斗を供給するものとして約七千人を養ふに過ぎぬ。然るに新義州の人口は現に一萬五千人に達して居るから約半分に供給する事が出來る位である。而し本年終了した雨量、蒸散量等の調査によると、現在の水源地に於て三百七十萬石乃至四百萬石の貯水をなし得る見込は付いて居る。而しそれ丈けの貯水力を有する樣の設備をすれば百二十萬圓位の工費を要する。乃で今日の府の財政から見れば頗る重大問題であるから當分の間は姑息的手段ではあるとしても、三年間は他の方法を以て徐々に給水量を增加する方針で進まねばなるまいと思ふ。

公園を新設する

第三には都市の擴大するに隨ひ、保健の上から見て必ず設備せねばならぬものは公園であるが、元來新義州の地たる鴨緑江畔の低濕地であつて山岳丘陵等の地物の倚るべきものがない。殊に、新しく公園を新設するとすれば今の平安神社附近一帶の地を相しても一萬坪約三町歩位の平地公園を作つたらとも考へて居るが、是には種々の困難も伴ふものと覺悟せねばなるまい。

遊廓地新設の要

次ぎは舊市街の市區改正と共に、其の特殊料理店を整理して甲種料理屋、乙種料理屋と云ふ風に區分して一區域に收容する事も緊要の事業であるが、其位置に就ても種々の議論もあらうし、今日の處では其位置に就ても未決定の儘である。要するに新義州は都市としての未成品であるから一々施設せねばならぬ事は數限りないが、差當り問題は右の三四であらう。

仁取增資二百萬圓

六日の重役會に附議

【仁川】仁川米豆取引所の增資は必然的結果として其の至當なるを認められ總督府に於ても既に非公式に內諾の意を表示せられたるやにて取引所では六日午後一時重役會を開いて增資實行に就て協議する處あり其結果は近く臨時株主總會を開いて增資問題を可決し直ちに總督府へ認可の申請を爲し一潮千里的に實現を期すべしと決せるもの如く仄聞する處によれば增資は二百萬圓にして現在の百萬圓を加へて三百萬圓となるべく新株割當てに就ては最も一般の注意を集めて居る處なるも二百萬圓の四萬株は株價維持株主擁護の意味からして舊株に對して割當て別に公募其他の方法による事なかるべしと云つて居る果して然りとせば舊株一株に就て新株二株の割となる譯なるも仁取の立場からして其の可否は遽かに斷じ難いものがあり頗る考慮を要するとなされて居る

嚴肅裡に新甫發會

四優良仲買店主表彰

【仁川】一月四日午前十一時、大正十一年度の期米發會最初の撃柝は透き徹る市場の中に響いた、此の日は紋服フロックに初相場を祝ふ社員は高場の上にズラリと並び河野、白神、加來の三重役亦高場に列席すると委員席新聞記者席には阪倉委員長、今村、高瀨、力武其他の各店主や各社の市場記者迄でキッシリ詰つて居る迄に廣い仁取市場は年頭早々立錐の餘地もなき迄に大小の客筋で滿員の盛況を極めて、居る社長代理松社長は臨場に立つて此の榮ある年頭の發會に際し簡單に希望を開陳して感想を披瀝し市場の現狀を概觀して更に將來に希望する處があり最後に前年中に於ける手數料納額の殷大なる者五名を表彰して茲に感謝狀と記念の金盃とを贈呈した先づ一等の榮譽を擔つた淺野太三郎氏は例るゝ如き拍手の裡に高場の前に進むで此の表彰を受くると都合により二等水野龍平氏の辭退により引續いて三等小林藤右衛門氏四等鄭灣正次郎氏五等吉金喜三郎に對して夫々三組銀盃の贈呈があり拍手裡に表彰式が濟むと直に委員席から阪倉委員長の明快な答辭がある取引所と仲買人との關係から近時往々圓滿に相互關係共存共榮の實を擧げつゝあるを祝し將來一層の緊密を希望して最後に前期問題に言及し此の機會に於て前期統一の實現に曙光あるを說明して各方面に對する努力協調の經過を述べて答辭を結ぶと同時に場の關係は豫々許りの拍手裡に終はる斯くして立會は當限三十圓丁度中限三十圓五十錢と前年末の大納會から百七十餘丁の下落に生れ先限三十一圓丁度と發會、此の安値に驚愕し極めて悲び緊縮な裡に勝販の賑やかさを見せて新甫の發會を終つた此日の午後各仲買店では一年の幸先を祝ふと云ふので店主店員悉く酒盃を擧げ得意客の多くを招いて例年も酒宴の大饗宴は張られ仁川の美妓が悉く此の一隅に集まつて絃歌四邊を壓するの趣きに縁起の好い四日は暮れた

勅諭拜受四十年式

【清州】清州守備隊にては軍人勅語を下賜せられてより四十年目の四日を期し午前十時より軍人勅語捧讀式を擧行し午後は市民に隊內一般の觀覽を許した

【晉州】明治大帝が軍人へ賜はりたる勅語を賜はりたる明治十五年一月四日より四十年に相當するを以て在鄕軍人會にては當日勅語捧讀式を擧行し終つて懇親會及新年祝宴を催した

【新義州】新義州守備隊並に國境隊の分隊では四日午前十時より勅諭拜受四十年記念の爲め勅諭捧讀式を行つたが在鄕軍人分會も午後三時から公會堂で同式を行ひ式後新年宴會を催した

【大田】大田在鄕軍人分會にては一月四日は恰も勅語御下賜滿四十年に達するを以て午前十一時から公立小學校講堂に於て其の捧讀式を擧行した參列者は縣木中學校長、伊藤大田郡守、豐田總務主任、角田京日支局長其他にして定刻佐藤分會長の挨拶あり終つて一場の挨拶をなし閉式夫れより別席に於て祝宴の饗應あり午後一時過ぎ散會したり

咸北名產 小手亡豆の特徵

【清津】咸北產の小手亡豆は從來內地關西の一部に賣れ行居るも關東方面にはまるで知られず常に北海道產のものに押されつゝあるが其品質は北海道產よりも遙かに優良にて第一何年間も貯藏に堪ゆる事第二土地を選ばず栽培に適する事第三北海道產の如く變色せず、品質を損せず等種々の特徵を有するを以て本年の東京平和博を期し大々的宣傳紹介に努めるつもりで清津の豆、雄基は準備しつゝあるが此の豆は菓子用餡には小豆よりも砂糖を要する事少く最も經濟的な豆であると

本年の雜穀 間島輸出可能額

【間島】間島一帶の本年の雜穀收穫能力は四十三萬五千石と見込んで居る總生產は百十一萬餘石で約三分の一强の出數あるが同年は內地相場不況のため未だ漸く一萬八千九百石しか出ず新春になれば一時にドッと出るものと思はる

平南社會課新設

【平壤】平安南道廳にては時勢の進運に伴ひ益に社會事業を施設し道治上非常の好結果を收めつゝあるを以て今後更に一段の施設を爲すべく今回道廳內に社會課を新設し一月一日附を以て夫々課員任命されたるが課長は嚴理事官なり

民政署と平和博

【大連】旅順大連兩民政署は地方課は今回支那人の日本平和博覽會觀光團を組織する由なるが會員は管內の會長及び村長等にて出發は來る三月頃である

平澤歌留多大會

【平澤】平澤うぐひす會、とりもち會主催に係る歌留多大會は本社後援の下に五日午前十一時より平澤旅館階上大廣間に於て開催したり、當日は水原より七名西井里より多田夫人等の猛者參加し平澤組を合し四十餘名一隊となり午後四時頃より白熱戰となり午後七時終了し左記の通り賞品を贈呈し優木社三等通信錢より五等入選者に夫々賞品を贈呈し八時頃散會した

一等松岡、二等豐田、三等山崎、四等寺島、五等中西、六等中西弟、七等多田夫人、八等西川、九等廣池令嬢、十等鳴島、十一等岡、十二等大橋、十三等江守、十四等藤原、十五等西來路以下二十八等迄略す

理髮賃値上げ

【清津】清津では昨年暮頃理髮賃と湯錢が高いとて住民に評判多く、兩方とも少し値下げをして居たが湯錢は最近に至り更に一錢下げの六錢にしたが床屋さん達は何に感ずつたか又もや五錢値上げの議題りとお出でた、目下警察へ許可を出願中である

會寧偕行社設立

【會寧】步兵第七十五聯隊（咸北鏡城會寧）は將校集會所を工費五萬三千餘圓にて新築中の處今回落成し去る二十四日竣成祝賀式を擧行せるが當日は同時に偕行社設立發會式をも行ひ將校百三十餘名と之に地方官民多數も參列して中々の盛會であつた

鎭火祈禱執行

【仁川】一月四日は恒例により仁川神社々殿で愛宕山鎭火祈禱祭が行はれた此の祈禱は信仰者森丹太郎氏が既に十三年に亙つて行ひ來つた祈禱で本年恰も此の十三年の祭次を記念する爲め同氏が歸省の砌英彦山參拜を終りて奇蹟的に得たる二十餘年前の三柱神社鎭火祈禱札を參拜者に配付したと之は曾て明治四十三年仁川大火の後に特に祈禱して仁川に配付した殘餘の祈禱札で效驗が最も顯著に顯はれて居る貴重のものであると

日支研究會設立

【大連】大連市將來の發展に資する爲には是非共日支人が互に提携して進まねばならぬはいふまでもないので兩者の研究會の如きものを組織し商工業其他の協議を遂げ資金の供給や事業の提携を計らん事を希望する者多し

仁川月尾島に海水浴場を新設

ホテル式の潮湯經營の計畫

【仁川】仁川月尾島大公園計畫と共に月尾島をして遊園的享樂場たらしむる事は最も必要な仁川の緊急策である處から嚴に期成會が組織されて主として緊急の問題とされた海水浴場の設置に就て計畫されてゐたが遂に過般其豫定地其他の確定をみて本春直に起工の運びとなつたのであるに現在の海水浴場を中心として之に

適當 の施設を加ふる事も亦頗る有利なる一條件であると云ふ處から既に昨夏以來關係者筋で研究中であつたが今回期成會の浴場計畫を月尾島突端の西海岸に確定されたのを幸ひ現在浴場附近に理想的私設浴場設置を具體化させんと計畫は漸に進められてゐる大要を記すと現在の月尾島突堤岸から約五十間のヶ所を起點として北に百間の築堤をし現在浴場から之に接續さすべく更に五十餘間の築堤を以て之に一郭を築く譯であるが此中に常に海水を滿々と湛ゆる計りでなく此の一郭の中に更に小區畫を施してボイラーを以て海中潮湯の設備な施設も加へようとしてある殊に陸上には完全な

潮湯 を建てる月尾島ホテル式の經營をするのは勿論、夏季に於ける釣舟の設備などは過去の統計から割出して一ヶ年の莫大なる遊覽數其の消費金額等の莫大なるに鑑みて釣舟或は屋形船等の建造もして遊覽の便に資する計畫であるが、多年漁に在つては此の海水浴場區劃內は漁業に充つる等萬全の策を建てゝある。而して此の費用約五萬圓を要するので十萬圓の

株式 組織若くは共同出資的の經營をする積りで各方面を交渉中であるが實現の曉は海の仁川としての面目が初めて保たるゝ事となるだろうと

各地の消防出初式

仁川

【仁川】仁川では四日午前八時五十分仁川警察署構內に於て本年の出初式を行つた、既報の通り署長の器具器械の點檢服裝の檢閱が濟み一場の訓示があると續いて府尹の訓示があり終了後常備消防は正門前の廣場に勇壯なる演技を行つた、警備されたる器具の實施操縱で何れも最も敏活に施して頗敷に豫定の動作を行つたが數餘の筒口から放射する放水作業の如き所謂水龍の美に躍る噴水の如くに頗る異觀を呈したものである此後地操縱が濟み署長の講評が終つて後宮町詰所樓上で一同と共に祝盃が擧げられたが五日午後三時から淺間樓で新年宴會が催ふされた、身命を賭して職務の爲めには猛火の中に躍り込む連中であるだけに此新年宴は又稀らしい盛況を見するを慨とするが例年も例年に增して酒盛盛んに各自支へ入隱足の隱し藝に滑稽の興を呼んで夜も八時に散會した

群山

【群山】群山消防組出初式は一月四日午前十時より開始された消防組は警察署長大澤消防組長指揮の下に各町を練り群山町大倉庫空地に集合消防演技を擧行し終つて群山公會堂に於て宴を張つた宮崎府尹の祝辭、大野會頭の祝辭、北村署長の講評があつて宴に移り花月、新月、明月、各料亭の紅裙の斡旋で遺憾無く組員の隱し藝續出して盛會裡に午後五時解散した

新義州

【新義州】新義州の消防出初式は四日午前九時新義州警察署構內で行はれた內鮮支各消防組員一同は定刻前に集合し鈴木署長の服裝器具の點檢を受け後署長は一場の訓示を與へ續いて消防組に對する希望を述べ終つて功勞者數名に賞狀を授與し十一時過ぎ全く式を終り式後內地人組は例に依り各町を練り梯子乘りの技を演じた

統營

【統營】統營消防組は例により四日出初式を擧行せしが午前九時警察署と共に警察に集合し點檢の上同十時吉野町埋築地に至り消防演習を行ひ十二時より統營座に於て盛大なる祝賀會を催したり

清州

【清州】清州消防組出初式は四日午前九時より消防組警察署構內に集合小柳署長の挨拶に次いで種々の演技あり後各官廳及市內を巡遊した

大田

【大田】大田消防組にては一月四日午前九時より須々木組頭を始め其他の役員及消防夫一同大田警察署より長谷川署長以下臨場一同參加盛大なる出初式を擧行し市中を梯子乘り等あり終つて午後五時より富士家に於て祝宴を開き盛會裡に同八時過ぎ散會したり

ゴシップ

【平壤】平南の德川は平北江界兩方面に通ずる要衝に當つてゐるだけに匪賊が出沒する▲是に對し德川警察署では何れも緊張し、いざと云ふ場合には署員何れも率先して飛び出す準備が出來てゐる▲殊に署長は部下に對し慈母の如き温かい心を以て接するから部下は何れも署長の爲めには火の中水の中にも投じやうと協力一致保安の維持に努めてゐる▲又管內の過激派鮮人も署長の德に服し未だ嘗て巡査に對し一行すら抗じてゐないさうな德は孤ならず嚴威並行はれてこそ管內人民が心服するのだ好評の署長益々自愛自重すべし

地方人事

▲吉川鐵華氏　哈爾賓日々新聞大連支社長に就任（大連）
▲森上卯平氏（大連五品取引所理事）今回森上高明と改名（大連）
▲竹內作平氏（代議士）五日夜對馬丸にて上陸十一時發北行（釜山）
▲林八十吉大佐（軍事課長）四日來新滯在中（新義州）
▲井上致也氏（滿鐵旅客主任）東萊鳴戶旅館に滯在中の處五日朝十時歸任（釜山）

營口通信

▲元旦の營口　元旦營口に於ては領事館にて午前九時より同十時より元旦式を擧行同十一時より小學校に於て同十二時より公會堂に於て市民の拜賀式行はれたり
▲年末年始の注意書配布　營口警務署にては年末年始多忙の際鼠賊に見舞はるゝ事多きを慮かり三十日各戶へ左の注意書を配布した
一、なるべく留守にせぬ事
二、外出の際は留守居を置く事
三、外出の際は一寸でも能く戶締をする事
四、暖爐及炊は小破でも修理する事
五、煙突は本部及紙張の箇所に接近せしめず且つ一週一回掃除する事、暖爐等の附近は常に掃除し就寢の際は必ず火元を見廻る事
六、何事かの際は直に其筋に電話を掛ける事等

鐵道附屬地植樹

【大連】滿鐵にては數年來春秋二季鐵道附屬地內空地に赤松、白楊、ニセアカシヤ其他の樹木を植栽し來りしが旅順大連萬家嶺沙河等を合せ三十五萬本の植付を了したりと

年賀郵便受附數

【新義州】新義州郵便局に於ける大正十年度の年賀郵便受付數は十五萬千七百六十一通で昨年度に比し約二分の增加だつたが同期間內に到着した年賀郵便數は七萬五千九百九十通で昨年の到着數に比べると二割許り減つてゐる

財務部長着任

【咸南】忠清北道事務官から咸鏡北道財務部長に榮轉した大島良士氏は二十七日入道就任した

煎子鰯初賣相場

【統營】統營煎子株式會社に於ては一月二日同社に於て大正十一年度の煎子鰯初賣入札を行ひたるが其高低出來値左の如し

品名	最高出來値 十貫に付	最低出來値 十貫に付
チリメン	四〇、〇〇〇	三六、四〇〇
カヘリ	[illegible]	[illegible]
小羽	[illegible]	[illegible]
中羽	[illegible]	[illegible]
大羽	[illegible]	[illegible]

牛肉の對岸搬出

【清津】清津屠牛場は近來每日二十頭以上の牛を屠殺しつゝあるが牛肉は鐵道航路によりて對岸の七尾、伏木の兩地方へ搬出されつゝある

演藝案內

松竹キネマ株式會社朝鮮總特約店　櫻井町　電話八七三　大正館
▲當る五日より新春第二次特別大興行
▲寫眞劇『スクリンナップショット第五』
▲『アラスカ山の寶窟』長尺
▲新派悲劇　尾張大八　全五卷　松竹キネマ蒲田撮影所作品
▲新派悲劇『死の假面』全六卷　本邦空前の海洋大活劇にして特に十萬圓の保險を附して孤島に出張撮影せし悲劇
▲喜劇『キッド』全六卷　チャップリン氏一代の傑作　空前の名畫なりや
▲入場料一等八十錢二等四十錢
本興行中は從來發行の招待券は斷り申上候

株式會社日活特約　京龍館　電話三一一番
▲新春特別大興行（三十一日より）
▲實寫　マルナヤ河の絶景
トライアングル、キーストン會社　○マックセンネット映畫　○ニコニコ喜活劇
▲日活向島派　山本嘉一、衣笠貞之助、東一派　新派悲劇　俠藝者　全五卷
▲お待兼ねの連續大活劇　米ヴァイタグラフ社傑作　ダンカン出世の活躍　最後の勝利
◉日活京都派　大久保彥左衛門
▲元日より特別興行　招待券御斷

京城本町一丁目　電話五九七番　日活直營　喜樂館
十二月三十一日より本年度の三映畫
▲實寫　京都風俗
▲日活京都撮影所作品　尾上松之助一派　梁川庄八　全五卷
▲陸軍のパール　四卷
▲まごゝろ　全六卷

本町五丁目　浪花座
當る一月九日より　お待兼の　嵐多見之助　歌舞伎大一座　正五時開演

國活ユニバーサル專門　黃金町　電話二六三七　黃金館
新年第二回特別興行
▲實寫　新春曲藝　一卷
▲喜劇　哀れなビル君　二卷
▲大連續　無敵エルモ　第三第四篇　エルモリンカシン氏主演
▲人情劇　沙漠に燃る花　大モンロー劇上場　ブリーリバート特作映畫　モンローサルスベリー氏力演
▲神秘劇　嚴頭の禱　全五卷　原作者ニルモーアエリットピーク氏　監督タクラスズラート氏

明治町　電話二六〇　浪花館
東京各流落語大一座　落語舞踊の名人　橘ノ圓來演　外に若手花形數十名出演

電話七八五番　壽館
大正拾壹年一月初春の新興行　東京に於ける新進の男女優を網羅したる東京歌劇協會一行　オペラに依て開演
京城オペラハウス出演　東京歌劇協會一行

滿員御禮　浪花館の橘ノ圓一座

永樂町一丁目　中央館　電話三〇一四番
▲さらわれ愛兒　全四卷
▲涙の結婚　全四卷

第一回營業公告

大正十年十二月三十日調　貸借對照表

借方ノ部	金額
株金未拂込	三七五、〇〇〇・〇〇〇
土地	[illegible]
建物	[illegible]
機械器具	[illegible]
什器	[illegible]
假拂金	[illegible]
有價證券	[illegible]
受取手形	[illegible]
現金	[illegible]
預金	[illegible]
計	[illegible]

貸方ノ部	金額
株金	五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
借入金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
未拂金	[illegible]
前受金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
計	[illegible]

利益金處分左ノ如シ

法定積立金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]
計	[illegible]

右ノ通リニ候也

京城窯業株式會社

簿記學生募集

本校は簿記學大家を招き當時通學部を開き數科目を授く
本校は東京市芝區愛宕町十番地
日本簿記學校

御披露

私儀此度左記の場所に料理店開業仕り庖丁材料の吟味は不一方御贔負を頂き居候處藝妓稼業中は不一方御贔負を頂き居候處此度料理店開業仕候間何卒舊に倍し以て如何樣にも御客樣方の御意に從ひ充分の注意を幾久敷御愛顧御引立を賜り候樣偏に奉希上候

京城本町二丁目五十八番地（梅之家跡）
十二月二十九日
みよ代　元千代次事　佐々きく
電話七三五番　二一九六番　二六三八番

京日案內

古本　無比高價買入　御報次第參上　京城本町二丁目　振替九七一番
古本　買入東京堂書店　京城本町三丁目　電話三四二八番
毛皮　なめし並に仕立　鼬狸其他毛皮類買入　京城本町二丁目　電話二〇六五番
毛皮　なめし營業　ネーションミシン販賣　京城南米倉町　電話一二九〇番
恩給　及賜金有價證券買入　京城古市町三五　江州屋本店假營業所
ほねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　京城明治町二丁目　柔術道場
毛皮　各種毛皮豚毛牛油類買入商　京城西小門內七八（電略モリ）
觀相　石龍子先生直傳　從五位勳五等（龍溪）酒井三郎太　京城本町五丁目八十一番地
高給　社員招聘　內地人三拾歲以上　黃金町二　太陽生命
社員　採用御希望の方は履歷書持參正午より午後三時迄　京城黃金町二丁目　大平火災海上保險株式會社　電話一四〇二
仲居　及び見習仲居入用　御望みの方は本人御來談下さい　京城旭町二丁目　東　菊久　電話二三一五番
讓店　本町四丁目有利の場所　臨時に付至急讓る　希望者は本町四丁目五〇番地　古川商店へ
求婚　年三十五歲官吏身體强壯　一子有り　家族なし　格別の嗜好なし　姓名在社

映寫禁止

されるやも計りがたし
本日左の飛報到着せり
チャップリン會社より松竹キネマ會社に對し『キッド』劇日本に於ける興行權利問題に關し紛議を惹起す何時映寫取消すやも難計し御含み願ひたし
跡確報到着次第遺憾ながら何時映寫中止するやも難計候間至急御觀覽あらん事を急告申上候
チャップリン氏一代の傑作
▲喜劇 涙の キッド　全六卷
○『キッド』は何故空前の名畫なりや？チャップリン氏が此映畫製作の爲め五歲の少年名優ジャッククーガン君と共に全一年二ケ月の苦心を費せるは普く世の知る所にして先般米國詳細大都會に於て封切の際は十二週間二千六百七十萬人の觀客レコードを作りし

松竹キネマ特作本邦空前の海洋大活劇　新派大悲劇　死の假面　全六卷
松竹キネマ歐洲佼部大作品　金城名物男　尾張大八　全五卷
松竹キネマ特約　大正館
○當る十日迄晝夜二回あります

眼科專門　金井眼科醫院

京城若草町（新設道路中程）（總督府前通り）若草町電話一五五六
●入院隨意　●日曜祭日診療午前中

株式名義書換停止公告
當行定款第四十四條ニ依リ來ル一月十七日ヨリ通常株主總會終了ノ日迄株式ノ名義書換ヲ停止ス
大正十一年一月七日
朝鮮銀行

三男德久病氣の處養生不相叶本月五日死去致候間此段謹告仕候
追て假葬儀は同七日午後三時自宅神式祖靈祭執行仕候 勝手御香花供物等は堅く御辭退申上候
大正十一年一月六日
南大門通五ノ三五（南大門外町內出張所前）
父 宍戶乙彥
親族 一同

故荊妻ナヲ葬送ノ際ハ嚴寒ノ砌遠路御會葬被成下難有奉深謝候年略儀以紙上御禮申上候
大正十一年一月六日
夫 今村豐八
親戚總代 今村啓之助
友人 和田八千穗
總代 本田建義

謹賀新年

舊年中は格別の御引立に預り難有奉謝候何卒本年も不相變御愛顧之程希上候
宮內省御用達
千葉縣銚子港
ヒゲタ印 醬油釀造元
銚子醬油株式會社
社長 濱口吉兵衛
專務取締役 深井吉兵衛

ちん

(本町共生堂の愛犬)

好景氣か不景氣か
易に現れた大正十一年
下半期から不景氣に

岡村介石

大正十一年から同十四年に至る世態の大勢に關しては豫て大正八年九月廿四日の京城日報紙上に『介石の二大豫言』と題して發表してある其要點は『戰後我が經濟の膨脹、物價の昂騰は先づ本年を絕頂として引續き大正九、十の兩年に亘つて變らない、そして十一年の半から

下り坂 となり十二、十三、四の三年は、大不景氣大暴落のドン底となる』と云ふのである

以上の如く本年は不景氣の前門たる宿命を有する年である、殊に四年前に明かに豫告されてあるから、我が京城日報の讀者諸君に介石の易斷を信ずる大方諸賢は何時不景氣の颶風が襲來するも迷惑のない筈であるが、靈驗の無い場合は兎も角、易斷を信ぜぬ人もあらうから重ねて茲に掲載し併せて本年の

概勢を 一瞥する、本年は彼の軍備縮小の會議の都合に依り一部施政上の變革を見る、けれども根本的大改革を見るやうな事はない、上半期は概して無事平穩の態であるが下半期に入ると財界、諸工業界に波瀾を生じ株式綿糸の如きは悲觀的變動を示し期米も亦財界の不況と夫れに宿因する在米過多の影響を蒙り昨年の凶作を度外視した玄人泣かせの相場を出すであらう、然しながら本年は又爲政者の

手加減 もあり大體に於て來年の動揺にくらぶれば大に輕く人に依つては大勢を觀察し卻て樂觀的方針を採るかも知れぬが夫れは危險千萬である、易の辭に

剛以濟柔、以濟剛、以剛近以濟柔

とある、此の靈護封象に依ると今後年を逐ふて來る不景氣は曾て日清日露兩戰役の後に經驗した夫れとは全然趣きを異にし容易に樂觀を許さぬやうである自分は昨年まで『米が十錢すりゃヤッコラヤノヤ』と云ふ様な物價の安い時代は到底自分の生存中に再現せぬものと信じて居たに拘らず

此の易 を顧て以來歐洲戰爭前の狀態、獨逸商品の安價なるに想到し怪しくも其確信は豹變して白米九錢に近き軟風のコゝ數年の內に吹く時節があるやうに想ふのである。

不孝者
醉つ拂つて病父を打擲

新義州常盤町七丁目自動車業百合原忠七(三)は二日泥醉して親父の米吉(六)が病氣で寢て居るのも構はず蹴るやら撲るやらして遂に警察の厄介になつたが今回丈けは特に說諭の上放還された(新義州)

元日早々の心中騷ぎ
氣の狹い指物職工
命に別狀はない

平壤西門外の遊廓に元旦の夜年越し賑やかに納めた頃壯丁の家で硝酸を呑み心中をしかけた男がある、其男は平壤大和町九一家具店指物職工吉田豊之助(二)で相娼は同遊廓春日樓藝妓三次事中谷アサ(二)である兩人とも相思の間であつたが數年來男は血道を上げて通ひ詰め其の馴染を重ねて居た其前夜大晦日の晩も男は無理な工面をして登樓した其夜三次は彼物語りに男に對し始終氣嫌れて愛々と諫め絞日の三日も過ぎてから來ては如何と說したるを小用は佐切り自分を振りたるものと早呑み込して雞にさわり翌元旦早々歸宅し日の暮るゝを待ちて再び同樓に至り三次の部屋に押上り懐らく痴話喧嘩の末隱し持ちたる硝酸を蹴下し苦隊を詰めたれば三次は顔も狂ふばかりに驚き同樓は元旦より上へ下への大騷ぎをなし至急手當を行ひ最寄の四方醫院に擔ぎ込んだが幸ひにも嚥下したる硝酸の量が少かつた爲め生命には別條なしとの事である【平壤】

中央郵便局全燒
僅々一時間半で烏有に歸す
損害額三百五十萬圓

四日午後七時丸の內東京中央郵便局より發火、僅々一時間半の間に本館及び附屬建物六棟千二百坪を全燒し工兵第三大隊の出動により九時過ぎ鎭火した損害三百五十萬圓行囊四十個外重要書類の大部分は持出すを得たが發火原因其他は目下取調中である尚當分郵便物は日本橋分館郵便局に於て取扱ふと(東京特電)

三萬二千圓の詐欺
大山子を張つて居た
仁川の穀物商泉谷

仁川本町四丁目穀物貿易商泉谷文七(四)は神戶の生れで詐欺前科一犯を有するが元々裸一貫の男であるに拘らず商才頗る秀で身に餘る借財を除いで取引をしてゐたが客臘相場の暴落に會つて鐚から惱

痛手を 受けてゐた、然るに偶々十二月の初め頃神戶の貿易商五六名から朝鮮米の買付申し込を受けたのを幸ひ鮮米九百五十石を深川汽船所屬の鷹取丸に積込む約束で同汽船仁川出張所で船積證を作製して買ひ取り數回に亘つて三萬二千圓を借り受けた、處が其後相場の變動と發送遲延の爲に買注文の取消を申し込んで來たので其時俗發送前であつた玄米九百五十石は

無斷で 之を他の現物商へ賣飛ばし其の金額で穴や其他商賣上に消費した事が發覺し客臘來仁川署に檢擧取調べ中であるが元々裸一貫の男で斯くの如く大山を張つてゐた事とて辨濟の方法もなく悄れ返つて居ると(仁川)

華頂學院全燒す
炬燵から出火して
損害約二萬圓

賀茶鄕く寂れんとする元旦の午後八時半頃火の見櫓から警鐘亂打され平壤市內は俄かに騷々しくなりスワ火事だと人は縱橫に狂奔する火元は平壤の目抜きの場所たる旭町藝華頂學院の煉瓦二階建で附近には東洋拓殖銀行出張所や丸大時計店等家屋櫛比し居る事とて其騷ぎは殆ど名狀す可からざるものであつた既に消防隊が馳けつけて消火に掛つた時は紅焰天をこがし將に附近に延燒せんとし消防隊は此處ぞとばかりに必死の働きを見せて同九時半頃鎭火せしめたが幸ひにも延燒を見ずして濟んだ原因は未だ判明ならざるも同院寄宿部の炬燵から出火したものらしく其損害總額は約二萬圓で保險金は七千圓ある由である(平壤)

各學校始業式

府內公立小學校では何れも本日午前十時より始業式を擧げたが七日よりそれぐ第三學期の授業に入る筈

籠拔け藝妓

新義州本町長所花月樓抱へ藝妓一龍春事支那山東省濟南府料亭物張業君香事小田ユキ(二)及び元山料理店吉野樓抱藝妓あきら事萬永くに(二)は客臘三十日家出したが國境方面に向つたかも知れないからと伺はれた主から捜査方を新義州署に願ひ出たので▲同名は三十一日の夜市內柴田町の某所に隱れて居たことが市內警察の手に捕り元山樓主へ逆戾り(新義州)

咸興の初火事

二日午後七時咸興本町三丁目より發火折柄の烈風に煽られ見る見る內に隣家を類燒したが消防隊が必死の活動に依つて午後九時過ぎ全く鎭火した罹災家屋は全燒三戶半燒三戶で原因其他は目下取調べ中であるが其餘燼のまだ冷め切らぬ三日の午後四時過ぎ又もや本町三丁目鮮人某の温突から失火しあはや大事に到らむとした處を辛うじて揉み消した

大正十年中の線香實上成績
新券番發表

府內新町券番では客臘二十九日大正十年中の線香實揚成績を左の如く發表した

▲一等花房席秀也▲二等京駒席富▲三等紅家春ほる桂▲四等福美の家小菊▲五等いそべ壽四郎▲六等紅家鈴子▲七等よし本小時▲八等紅家五郎▲九等富美の家次郎▲十等志磯家百菊、獅子の部▲壹等志磯家百千代▲貳等富美の家千代鶴▲三等玉家小千代

鬼樓主へお灸

新義州櫻町料理店丸吉は樓主が抱へ妓を虐待した廉に依つて昨臘三十一日から十日間營業停止を命ぜられた(新義州)

連絡船の初乘降客

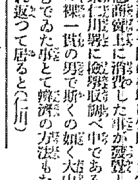
大正十一年正月元日の初乘降客の目出度さを祝ふとて午前五時四十五分釜山着の景福丸を迎へて新羅丸に待ち構へて乘客を迎へると此の人は湖南線裡里益沃水利組合工務課技術員北川一二氏と云ひ福岡縣糸島郡伊佐田村の出身で同十二月中旬頃一方へ新年の祝賀に赴く途中であつた又同景福丸からの初降客は東京府東城町一丁目合資會社根津商店代表社員木根代吉氏で同氏は大阪の十一日久留米を出發して歸鮮の途にあつたもの、そして何れも本紙愛讀者であつた事は記者として一層慶賀に堪へぬ處であつた(釜山)

日本麥酒の新年宴

大日本麥酒京城出張所では五日午後六時から旭町京城クラブに各新聞雜誌記者二十餘名を招待して新年宴會を催した山上所長の挨拶に次いで撰擧朝新聞社長が謝辭を述べ餘興として新曲『旭光照波』の手踊があつて盛況の裡に十時頃散會した

童話 犬王丸 [中]

藤川淡水



『犬王丸様、お城へ入りました』

と呼ぶ聲にハツと目が覺めました、お籠の簾は卷き上げられて、お籠の前には十人ばかりの侍が平伏してをりました。

『さうか』

と犬王丸はお籠から外へ出ました、目の前には大きなお城のお玄關が見えました。

『案內頼む』

『かうおいで下さいまし』

と一人の侍は犬王丸をお城の中へ案內しました。

『綺麗なお城の中だな、なぜ僕をこんな所へ連れて來たのだらう。僕は夢を見てゐるのではあるまいか』

と思ひながら、そつと頰ぺたをつねつて見ました。

『あ、痛ア、痛いところを見ると夢ではない。併しどうもこのお城の中の様子と言ひ、侍達の禮物と言ひ何でもこれは昔のやうな氣がするが、これが大正十一年だとは思へない。僕は大正八年の六月三日に神奈川縣の總の下で生れて、三日目に村端の原に貰はれて行つたのに違ひないのだからな』

と考へながら歩いてゐると、案內の侍は正面の襖をさつと押開いて

『お殿様があれにおいでゝございます。ヅッとお進み下さい犬王丸様』

と言ひました。向ふを見ると、一段高いところへ、四十前後の立派なお殿様が、厚いお座布團の上に坐つていらつしやいました。お殿様は、いつもお馬に乘つて騎兵の大將だと思ひましたのお顏は、お通ひになる聯隊長の大村大佐にそつくりだと思ひました。

『犬王丸か、よくまゐつた。近う』

と、お殿様がお聲をおかけになりました。犬王丸はお殿様の御前に進んで、座に着いて

『只今でございます。お殿様には御機嫌よろしく』

と御挨拶を申しました。

『ウム、汝も丈夫で好いの、年はいくつになつた』

『はい、四つでございます』

『十と四つか』

さうだ、四つはポチの年だ。犬王丸は十四ぐらゐに違ひないと氣がついて

『合せて十四でございます』

『大きくなつた、汝はこの私の覺え子だ。逢ひたかつたぞ』

それは違ひます、私は犬の子ですと言はうとしましたが、そんなことを言つてはいけないと思ひ返して

『私も……早くお目にかゝりたいと思つてをりました』

と言つて冷汗をかきました。

『盃の用意……』

と次の間から美しい女達が長柄の銚子を持ち出して、お盃を先づお殿様に差上げ、それから犬王丸の前に持つて來ました。

『頂戴します』

と犬王丸はお盃を頂戴しました。この時お殿様は犬王丸に向つて

『汝は大方武藝のたしなみもあるだらうの』

『はい……一通りは……心得てをります』

『頼母敷い、それでは先づ汝の腕ためしに申付ける、近頃城外の野原に山賊が出るといふ噂ぢや。汝行つて退治して參れ』

『ハツ』

『行けよ』

『ハツ』

と犬王丸は仕方がないので引受けました。びくくしながら引受けました。

コドモの作文

欲しい物盡し

高校と大學

東大門小學校 尋五 小笠原義夫

一年二年三年と學級の進むにつれてたんくいたづらになつて來る。又そのいたづらも過ぎると賢くなる。いよいよ中學校の試驗をうけてはいる。中學校を卒業して高等學校は內地に行かないと無い。京城にあればはるく遠い所へ行かなくてもよい赤金を使はなくてもよいことになる。又京城に高等學校があつたにしてもこんど大學校にはいる時にはどうすればよいだらう。矢張遠い海路を渡つて內地に行かなければならない。たく山あればよいが所々にしかないものは高等大學の二學校で、京城で欲しいこれさへあれば僕は安心だ。

女學校

日出小學校 尋六 加藤暖子

此の京城の様な都會に、女學校が一つとは無理である。今までにはいつた人たちも苦勞をしてこまつてゐたが、今度は私等がこまらなければならぬばんになつた。さびしい田舍やどんな村でも、女學校の一つぐらいはあるのだから、こんな賑かな人口の多い都會には、女學校の二つや三つぐらいはあるのが、あたりまへであるのに、一つしかないので、一生けんめいにならないとはいられない。嬉しいお正月が來ても、勉強の事やら入學試驗の事を思ふと、氣がふさいだやうで、樂しい事も何もない。私たちが苦勞や心配をもすこし少なくして、らくにはいられるやうに、女學校をもう二つ三つ建てゝほしい。土地の乾いた、日あたりのよい、空氣のよい所にあつさりとした建物で……。

私ののぞみ

海軍大將

東大門小學校尋四 須藤朝夫

私は今尋常小學の四年生ですが、後には海軍の大將になつて、國のため君のために、はたらかなければならないと思つて居ます。そうなるには學問を一生けんめいにして卒業する時は一二番にならうと思つてゐます。だが、なんぼ一二番で卒業しても、泳ぐことが出來ないとだめだと思ふから、今のうちから泳ぐことをけいこし、又、體をじようぶにしなければ海軍の兵士にはなれませんから、今からよく氣をつけて、つよいからだにならうと思つてゐます。

音樂家

日出小學校尋四 赤池貞子

私にはたくさんの希望がある。其の中最も大切な希望は、父様母様といつまでも、ゆたかに樂しくくらしたい。そしてけなげな花のやうに、やさしい少女となつて、あはれの人になさけをかけてやりたい。私の希望の一つはこれであるが、實行したらどんなにうれしいだらう。天國へいつたよりもうれしい。私はのんびり育つて行くやうに、いつも活潑にしてゐる。もう一つ私は音樂が大好きだ。あのやさしいピヤノの音をきくと、たのしくてたまらない。私もおきくなつたらあのやうにピヤノをひけるやうになりたいと思ふ。

犬くらべ

鐘路小學校尋二 稻川貞子

めるといふ犬は、おむかいの犬で、ちやいろのちぢれつけの大きな犬です。私をすきでいつもおくわしをもらびにきます。このあひだ子どもを九ひきうんで、七ひきすてられましたほんとにかはいそうなことでしたのこつた子どもをかわいいから見に行きますと、とられるかとおもつておこりますからおなじみの私をわすれてしまつたのでせうか。

南大門小學校二 石田キン

私の內の犬はなまへをあいちさんともうします。私はあいちゃんをかはいがつてやります。もうすつかり私になれて居ります。私が學校からかへるとよろこんでとびつきますから『あいちゃんまちなさいかばんをおいてきてから。おくわしをやりますよ』といひますと、よろこんで私がくるのをまつて居ます。おくわしをやりますとてをしてわんわんとほへます。それがかはいくてたまりません。學校へきても。そのことばかりおもつて居ます。

謹賀新年

御料理銀杏 醫藏はんた韓國 政子 香月 香め 勇はし 君子 良子 林子 清子 お了 吉翫 松葉 吉 五郎 仲居一同

滿洲商長 杉山量吉

木材商 安東縣六道溝 宮下洋行 主任 前田伊佐衞門 電話二三番

安東縣四番通六丁目 海手料理仕出し 一福亭 電話四八番

安東縣六道溝 天佑醫院 電話五四六番

安東縣四番通 育田文三 電話二三五番

安東縣二番通 玉川樓 電話二三三番

安東縣五番通七丁目 吉井材木店 電話九八一番

安東取引所仲買人 安東縣六番通七丁目 鈴木岡之進 電話四三二番

安東縣魚菜市場 中村魚店 電話二一八番

製紙製材機械 手持道具 安東縣四番通五丁目 宮崎鐵工所 電話二八九番

安東縣銘酒店 大和橋通七丁目 一鶴 本店 支店 電話二七番

市場通三丁目 東亞商會 電話八七番

市場通四丁目 和洋酒製造元 白鶴 鶴屋酒店 電話三二番

大和橋通六丁目 櫻正宗 宮久娘 三巴商店 電話三四番

四番通三丁目 白鹿 宮川支店 電話三〇番

木材貿易 安東縣三番通 宏隆洋行 電話長六四五番

安東縣三番通 醬油味噌 田原釀造所 電話一五三番

安東縣五番通三丁目 木材商 奧村組 電話一八六番

安東縣二番通 貸席 玉の家 電話一七二番

左官工事並セメント瓦製造販賣諸請負業 安東縣四番通六丁目 管勇吉

鴨綠江運輸會社 安東縣三番通三丁目

大日本鹽業株式會社 安東縣出張所

仁川仲町一丁目 原鹽販賣 結城商店 電話一〇三番

仁川機關庫長 丹下正一

仁川宮町 和洋雜貨 伊藤商店

西大門監獄 仁川分監職員一同

仁川本町四 八木帽子店 電話五二四番

仁川新町 古鐵空壜問屋 北原商店 電話三一九番

仁川本町 うどんそば 萬盛庵 電話八四二番

煙草專賣局仁川出張所長 鈴木勇之助

仁川山手町三丁目 內田英一商店 電話一二九番

仁川仲町二丁目 俵屋旅館 電話七四一番

仁川濱町 各種セメント石灰 土管煉瓦 各種材料 加賀田商店 電話四二三番

仁川仲町 日鮮人向雜貨 南方竹次郎商店 電話一六六番

營口文房具各種萬年筆 花井勤勞堂 仁川仲町

仁川松坂町 吉田硝子製造所 電話五三四番

仁川本町 野田齒科醫院

材木商 株式會社 大二商會仁川出張所 仁川府濱町 電話二一二番

仁川宮町 加藤精米所 電話五一八四一番

仁川府宮町三五番地 木材商會仁川支店 電話三三番

仁川濱町 馬場精米所 電話六四二番

仁川濱町 松本材木店 電話六〇九番

仁川松林里 岩本牧場 電話七六七番

仁川松林里 愛宕靈灸 諸灸庵 森丸太郎 電話一〇八番

梘驛長 元岡政夫

仁川龍里 福西製粉所 電話長三六番

仁川京町 食料品問屋 中村嘉兵衞商店 電話二七番

仁川宮町 食道樂本店 電話二五五番

仁川本町 日鮮雜貨貿易商 戶田物產株式會社 仁川支店 電話七八番

京畿道仁川米豆檢查所職員一同

仁川濱町 藤井琦一

仁川 堀力太郎

仁川本町 メリケン粉砂糖商 德永商店 仁川出張所 電話一四七

仁川港町 大阪商船株式會社仁川支店 電話五五〇番 二三〇番

仁川 朝鮮燐寸株式會社

仁川本町 合資會社 增田屋商店 京城旭町

仁川築港 定期航路 仁川海州線 仁川鎭南浦線 仁川鵝島線 田中回漕店 電話一四〇

仁川萬石町 朝鮮物產株式會社 電話八五〇番 九三〇番

仁川龍岡町 土木建築受負業 片山佐吉 電話六五九番

仁川龍里 沈能德 電話三六三番

仁川山手町 御料理 鱗 電話六八番

京城本町二丁目 古田洋服店 仁川濱町二丁目十四番地 仁川出張所 鳥致院吉野町 鳥致院出張所

仁川山手町 御料理 鳴戶 電話九〇九番

仁川東公園前 名物 ばなな羊羹 湖月堂

仁川宮町 御料理 三吉野 電話四〇八番

仁川宮町 榮亭 電話四二九番

仁川山手町 今井京太郎 電話二六九番

結航代理並に同購入 免許代辦 鐵道荷物取扱 京城南大門驛前 ㊐朝日組本店 仁川本町四丁目 南浦支店 釜山支店 新義州支店 仁川船渠

仁川內里 魚商 山中政之助 電話一五八番

仁川濱町 片山石炭店 電話三四二番

仁川寺町 蕎麥 片モト 電話四一八番

仁川濱町 石炭商 林田支店 電話四〇七番

仁川花房町 園田精米所 電話六四七番

仁川本町二丁目 藤井八重藏 電話一〇一〇番

仁川濱町 宮川組 電話七二番

仁川驛長 牛屋正雄

仁川濱町 御料理 新門

朝鮮仁川 和洋雜貨貿易 ⑧株式會社 鬼頭兼次郎商店 電話長六五番 一四二番

仁川宮町 御料理 三福 電話一七八番

仁川宮町 橋本靴店

仁川新町 うどんそば 成金 電話五五三番

仁川仲町 原金旅館 電話三三番

仁川本町 太田與吉商店 電話三九番

仁川本町四丁目 河野自轉車店 電話二六五番

仁川本町 和洋雜貨 古田商店 電話二四番

○○本町四丁目 文具商 中川勝美堂 電話三四三番

仁川本町四丁目 玩具足袋小間物類 清水商店

仁川稅關 永 野清 市川豐次 小島太八 尾關光郞 谷野之進 中村三郞 內川太郞 滿田武夫

仁川寺町 日用品 諸雜貨 河添太一商店 電話一六四番

仁川支那町 義生盛 電話八一八番

仁川宮町 川崎仁生堂藥局 電話二一九番

仁川新町一丁目 藤田定二

仁川濱町 內海材木店 電話二七九番

廣瀨時計店

仁川宮町 西洋料理 金波 電話六〇五番

仁川仲町二丁目 安井鐵次郎商店 電話五一七番

仁川濱町 紳谷鐵工所

未來局仁川出張所長 武藤倍槌

仁川郵便局長 齊藤五郎

仁川仲町一丁目 運送業 大和組 廣池亭四郎 電話長五三八番

仁川本町 北島藥店 電話三四番

仁川龍里 北垣華王園

仁川本町 貿易商 森文二郎商店

仁川宮町 西洋料理 東洋軒

仁川新町 津田兄弟商會 電話七六二番

仁川新町 食料品問屋 若林商店 電話一九一番

仁川本町 花屋旅館 電話長五四三番

仁川宮町 木村幸三郎商店 電話四六番

仁川濱町(稅關埠頭前) 御旅館 近江屋 電話六四九番

洋酒洋物煙草商 越智商會 仁川宮町 電話七三八番

仁川宮町 本田靴店 電話八二五番

仁川花町 三巴醬油釀造場 電話七二三番

仁川本町 山口カマボコ店 電話四〇一番

仁川新町 高野支店 電話二七七番

仁川新町 河井酒店 電話三一五番

仁川觀測所長 後藤一郎

仁川新町 一町田自轉車商會 電話八四五番

信越地方 一各小學校の …… 京城俱樂部 …… て國境を侵す

【東京發電】假越地方は四日朝來大吹雪となり積雪五尺に達し列車の運轉…困難となれり

六日十時から 初訓話

府内各小學校及び普通學校に於いては六日午前十時から第三學期始業式…

…訴訟が併せて三十件

京城地方法院民事部の初開廷は來る…任意出頭の手元に受付けた民事訴訟は…件此外破産事件…が二件で…計三十一件其主なるものは料理代金…

狂犬現る 一般に注意せよ

…

志願者の素質

…一般に注意すべしと
長は語る『今回の入所者は十一月末採用試験…生は五十五名で來る九日から開始…では受驗者は以前に比し數倍增加を…高等普通學校卒業生も可成加はつてゐるので素質としても立派なものが段々多くなつて來るのが喜ばしい現象である』

不逞團渡江し

…午後七時であつた…
…式にて執行すべしと

奬忠壇のスケート（七日朝）

常夏の國へ【臺灣視察團一行消息】

和氣靄然たる車中

腰の痛みも忘れた赤尾さん 坂井越中氏の郷里の面白い話

新羅丸の客室にて　楚峰生

我が臺灣視察團の旅途を祝福するかの樣に、正月三日の日輪はうらゝかに列車の硝子窓を透して暖く射りつけて居る。それにスチームの温かみで車中は初夏のやうだ、一行の外套はいつの間にか窓側の帽子掛けに首を吊つて居る。いさゝかの祝盃に醉をとつた泥谷檢事長は特製の長い脂首を四十五度の角度に傾斜して頭の頂邊を窓硝子にすりつけながら平和な眠りにおちて居る、病中を押して參加した赤尾團長は腰の痛みも忘れて大食有効論を滔々と述べる、都築副團長で『旅行安全』の發明者（？）都築康二氏が共鳴して盛に合槌を打つ、千金丹で名高い越中富山の産、坂井文治氏は其温厚な性格の謹嚴とも云へるおつとりした口調で郷里の面白い話を聞かせる。快活な新井總松堂の爽快な物腰りや釜山まで見送りする本社京城實部主任武井矢平子が東京で聞き込んだ滑稽談に車中は和氣靄々として絶えず笑聲が溢る。未知の同乘客から一行に珍菓の寄贈があつたので彼露に及ぶと、今まで陶睡の夢を遡つてゐた連中も眼をさます、常滿のやうに手を擧げて珍菓を摑んだと見る間にパクつく。大邱で夕食を喫して後釜山まで見送つて來た三光商會主井氏聯の聯絡江節を高唱しつゝ午後七時五十分釜山に到着、網井本社支局長、河谷本社鮮業部長、釜山實業家有志その他多數の出迎へを受けて埠頭の一行を待てる關釜聯絡船新羅丸に乘り、二等寢臺に身を橫へて午後八時半下關に向ふ、因に觀察團の聯絡江節を左に紹介する

渡江の氷もかたき京城を、萬歲に送られて、行くは常夏臺灣の視察々々を究めん觀察團

興の湧くまゝに 一行寢もやらず

船は一路平穩鏡の樣な玄海灘を辿る樣に下關へ

下關山陽ホテルにて　殘月生

汽車中は暑い〳〵と云ひながら矢張り冬の厚いコートを着てゐるし窓もしめた儘にしてゐる大分たつて別に遠慮もいるまいと一人が上衣脱けば成程さうだと又一人が脱ぐ二人三人之に倣つてアヽ之れで大分凌げると云ふ馬鹿な樣な話であるそれでもスチームの勢力は中々強くて停車するたびに歩廊に出て涼を取るといふ騒ぎである

話は次ぎから次ぎと興の趣くまゝに際もなく八方へ飛んで行く内に一昨年來の紅葉狩の觀光團に加はつた櫛山君の話も出てどうぞ今度はお手柔かにといふやうな處で話は又他の方角に飛んで行く

釜山では河谷君や支局の龜井君が何くれと周旋して呉れて萬事好都合に運んで定刻に出港する全羅北道の參與官林榮盛君は年末から東萊温泉に靜養して一行を待つてゐたのであるが船中で初めて一行に加はつた偉大な體軀で見た丈けでも丈夫に感ずる船に達者でない連中は手早く用意して安靜の策を講ずる元氣のよい人は早くは寢たくない樣子である何と云つて狹い船中の事で發展のしようもない皆其れ〳〵餘儀なくベッドに納まつて仕舞ふ

ベッドの都合でベッド、ルームに二人だけ避される事になつて杉山君と僕とが抽籤を引いたベッド、ルームは六箇のベッドがある吾々の外に二十三四の若い露西亞娘が一人とモーニングを着た若い紳士風の男と四人である露西亞娘は船に醉ふて片言まじりの日本語でボーイを呼んで熱い水を下さいと頼んでゐる頻りに咳をして堪らない樣子で氣の毒であるモーニング一通りの常識は有つてゐさうに見えてゐる男であつたが婦人もゐる此ベッド、ルームでシガーを燻らすので露西亞娘はますく咳が募る。こんな不作法な奴が居るから排日も喚ふのである

下關には丁度七時に着いた。山陽ホテルで岡山の大澤君に面會する入澤君は今朝の五時に茲に着したといふ朝食を濟まして大阪の香川君を待つ間に皆繪葉書を書いて初めての旅行通信を出す赤尾團長の總員に對する挨拶もあり是から赤間神社と龜山神社とに詣て朝鮮銀行下關支店の歡迎を公會堂で受くる事になつてゐる

光華燦たる豐明殿の宮中新年御宴

管絃の奏樂裡に殿下親しく玉盞を傾けさせ給ふ

內外使臣を召させられて御恒例に依る新年の御宴は五日正午より宮中豐明殿に於て行はせられた、玉座を南廊にして中央に各皇族の御座席を始め臣僚數百名を入るゝに足る豐明殿は裝飾既に成り花電燈の輝きを浴び高き紫咲きの百花は卓上にこぼれ紫緞子張の椅子は電燈の光に一層の色を增し殿下の出御を待ち奉る如く拜された、定刻に至るや殿下には御正裝にて伏見、閑院、東伏見各殿下、牧野宮內大臣、德川、入江兩侍從次長、內山、奈良兩侍從武官長、井上式部長官以下式部官扈從の上豐明殿に出御あり途中千種間に列立せる東郷大勳位、高橋首相以下各國務大臣、公侯爵以下並に英國大使エリオット氏外使臣に拜謁を賜ひ玉座に着かせられた而して參列員多きため本年は豐明殿東西兩廊にも各使臣は着座した殿下は井上式部長官をして御陪宴を告げさせられ左の令旨を賜はつた

攝政殿下の令旨

新年の佳辰に當り各國代表者並に諸大臣等と饗宴を開き歡を倶にするは余の滿足する所なり茲に友邦の君主及び大統領の健康を祝し併せて交際の益々親密ならん事を望む

高橋首相の奉答詞

茲に新年の佳辰に當り群臣を御宴に召され辱く優渥なる令旨を賜ふ臣等感激の至りに堪へず臣是清群臣に代り聖恩の鴻きを謝し謹んで寶祚の無疆を祈り奉る

エリオット大使奉答詞

殿下より賜はりたる優渥なる令旨に對し茲に外交團一同を代表して殿下の謝意を表するは本使の光榮とする所なり本使等の代表する君主及大統領に於ても亦殿下の令旨に對して深く滿足せらるべき事と思惟す本使等は新年の此佳辰に際し恭敬なる祝詞を殿下に呈すると共に衷心より陛下皇后陛下及び殿下並に皇族各殿下の健康を祈り奉る尚本使は日本帝國の安寧及び日本國民の幸福並に日本國と其友邦との間に於ける好誼親睦のために殿下攝政の大任を益々隆昌にして多幸ならん事を懇請す

御答禮し終つて開宴となるや式部職雅樂部員は管絃樂を奏して興を添へ奉り殿下には親しく玉盞を傾けさせられ左右の皇族と共にいと御機嫌麗しく御物語らせられ斯くて諸員撤饌裡に各皇族殿下供奉の上入御あらせられ各使臣は天恩に感泣して夫々退出した尚午後六時よりは皇后宮殿下御臨席ありて同じく豐明殿に於て侍從長以下有位有爵者に陪食を賜り御盛大なる御宴は御終了あらせられた

東洋御訪問の英皇儲南貢御到著

十日マドレスへ向け御發航

【東京電報】南貢よりの情報に依れば英國皇太子殿下は一月二日午前八時無事御到著市の盛大なる歡迎式あり四日マンダレーに赴かれ八日南貢に御歸著十日にはマドレスに向け御出發の筈なりと

一路平安基隆へ

碁を圍み將棋を鬪はし室内に圓陣を作りて虹の如き氣焰を擧ぐる

香港丸より無線電信【臺灣視察團より】

【香港丸四日午前十時四十分發信】本社主催の臺灣視察團一行は船内にて三班に別れて三室を占領し一同入浴後深更に至る迄碁を圍み將棋を鬪はし或は室内に圓陣を作りて雜談を始め虹の如き氣焰を擧ぐるなど一行の親密益々加はり恰も宏壯なるホテルの内に在る樣である五日は未明からベットを離れて談話室に入り會議を交ふ朝食後は輪投げ其他の遊戲に時の過るを知らず午後本船船長撮影の記念のカメラに入り一行元氣旺盛にて五日午前十時四十分有明の沖合を一路基隆港へ！基隆へ！

隈侯危篤に陷る

膀胱出血の爲め衰弱甚しく五日朝嗜眠狀態となる

【東京發電】大隈侯は去月二十三日以來膀胱出血の爲め衰弱甚だしく殊に二三日以來の寒氣の爲め容態頓に激變し五日朝嗜眠狀態となり危篤に陷つた稻田、林主治醫の外三浦、土肥兩博士枕頭に侍し警戒中にて午後三時の體溫三十六度脈搏八十八呼吸二十一にして食慾なく目下見舞客にて同邸は大混雜を呈してゐる

略歷

舊佐賀藩士大隈信保氏長男天保九年二月生、明治初年徵士に擧げられ外國官判事、參議、外務大臣（二回）內務大臣、內閣總理大臣（二回）等に歷任し明治十四年改進黨を組織し、早稻田大學を創立し明治二十年伯爵を授けられ、大正五年侯爵に陞せられ、生前正二位大勳位、貴族院議員たり

民衆と提携して安寧は維持さる

警察と民衆の接近の徵

警察の民衆化、言ひ換ふれば警察と民衆との接近提携が圓滿に遂げられ雙方に充分の諒解があつて始めて社會の安寧秩序は維持せられ民衆の生命財產も完全に保護されて幸福の將來は期し得らるゝのである然るに是迄の久しき警察に接近することを欲せず否寧ろ疎遠主義を取つて居たのである、極端に言へば嫌がつてゐるのが一般の狀勢であつた殊に文化程度の低い田舍者などになると一種の恐怖心を以て接して居るのであるこんな有樣では警察行政の精神も徹底し得ないのは無理ならぬことである、別して朝鮮に於いてはいや此の感が一層鮮明であつた、處が近來は民度も向上し且つ警察行政の精神を稍諒解して來たと認むべき傾向がある是は龍山警察署に於ける本年正月の年始客の數を見ても明かである昨年の如きは僅かに…であつた然るに本年は…有餘人の中朝鮮人側が約三分の一を占めて居る此の傾向は甚だ喜ぶべき現象であると龍山署長の談である

兒童の健康狀態を調査す

傳染病豫防の爲め龍山…二十一日より臨時休業中なる龍山小學校に於ては休業後の狀態全く不明につき六日午後兒童を召集し現狀調査の筈にして之の結果を見ざれば豫斷し難きも引續き休校するには及ばざるべしと

佐賀嬉野溫泉火災で全滅す

【佐賀發電】四日午後一時佐賀縣嬉野溫泉町森永病院より發火し嬉野分署、郵便局、料理店等主なる建物を燒拂ひ殆ど全町全滅の姿なり

憲兵司令部の勅諭下賜記念式

義太博多二輪加があつて盛況を呈す

朝鮮憲兵隊司令部に於ける勅諭下賜滿四十年記念祝賀會は四日正午から京城分隊構內で催した憲兵隊員及び其の家族並に來賓を合して二百餘名三原高級副官が開會の辭並に記念日の感想を述べそれより餘興に入り義太夫、博多二輪加等あり憲兵隊獨特の餘興やら前田司令官の『陸奧の復活（加藤の手柄）』…等あり何れも大人氣であつた午後五時から模擬店を開き…うどん、そば、おしるこ、…おでん等で一入賑やか再び三原高級副官の閉會の辭ありて六時盛會裡に散會した

東京大相撲 初日は十三日

東京大相撲春場所新番附は豫定の通り五日午前五時發表されたが初日は十三日である

電車內で痲藥强盜

昏睡狀態に陷り懷中を掏らる

【東京發電】府下下澁谷向山一四一八番中村和雄（三一）は去る三日午前十時赤坂區青山七丁目先に於て澁谷行電車內にて何者にか痲醉藥を嗅がされ昏睡狀態に陷り懷中の百五十圓入の紙入を盜まれたので所轄青山署は各所に打電し秘密裡に犯人を捜索して居る

二三日は此の暖かさが續く

‖六日は小寒の入り‖

六日は小寒の入りで此れからは寒氣は益々加はるのであるが測候所に氣温を訊ねると氷點下十一度に出てゐるが氣候の方を見ても此の暖かさは二三日は保てるであらうと

土塀に不穩文を彫刻す

府內昌成洞十六番地…土塀に小刀の…

老朽を淘汰して新進登用の途を開く

春場所番附發表に就いて

【東京電報】五日發表されたる春場所力士の新番附に就き入間川關が語る所によると番附編成には隨分苦心したよとて語つて曰く

一今度の番附は東の筆頭、大關に變化はなく非常に部屋の源氏山が西方の大關に廻つた外宮城山、小野川は西に廻り一人射水川の殘つた外は對馬洋に大の里の殘つたのは番附の都合である今一つは千葉ケ崎の張出大關であるが病氣をしても頑張つたといふことを買つて關脇說はあつたが陷落しなかつた前に九州山が大關から關脇に陷落した例から言へば當然落ちて落ちるとは已むを得ない東方の釋迦ケ嶽逹の矢が陷落して東方に轉の山が昇進したのは一寸例のないよで從前通り行けば當然釋迦ケ嶽と逆の矢が幕尻に殘る譯であつて十六年も幕內に精勤した釋迦ケ嶽を陷落せしめたのは甚だ遺憾であつたが今度は老朽を淘汰して新進登用の方針を執つたのは…新三役五名新幕內九名新十兩十名を出し幕下に陷落したのは釋迦ケ岳、逆の矢、小野川、若港、射水川逆鉾、鯱洋の七名が十兩に陷落したのは協會初まつて以來の未だ例のないことである云々

東京大相撲新舊番附對照表

	東の方	西の方
（新）幕內	張出 栃木山、[illegible]	張出 千葉ケ崎、[illegible]
（新）十兩	伊吹山、若常陸、高の戶、[illegible]	白岩、宮城山、太刀海、[illegible]
（舊）幕內	張出 栃木山、大錦、常ノ花、源氏山、[illegible]	張出 大湖、[illegible]
（舊）十兩	[illegible]	[illegible]

日曜學校でお伽大會

合唱が濟んで面白いお噺

府內本町三丁目淨土宗日曜學校にては五日午後一時より同寺に於て新年お伽大會を開催した開會の挨拶に次いで君が代を合唱し同校々長のおさとしが終つて本社八島柳堂氏は拍手に迎へられて登壇『勇敢なる佛國少年』と云ふ愉快なるお伽講演後ハモニカ合奏巖谷小波先生の繪ばなしお伽話等あつて萬歲を三唱し同四時半閉會したが頗る盛會であつた

高田博士病む

膽石病の微あり

【東京發電】貴族院議員高田早苗氏は鎌倉に療養中より甲府に避寒中なるが膽石病の微あり快癒捗々しからず

佛國答禮使

ジョッフル元帥國書を捧呈す

朝野の名士とも會見し其の結果日佛兩國今後益親善の度を加へん

【東京電報】ジョッフル元帥來朝につき佛國大使館附武官フオリエッ少佐は語る『日本の皇太子殿下が我國を御訪問あらせられたので元帥は御答禮使として來朝する事になつたのであるが私は日本の國情などを說明する關係上下關迄出迎へる豫定である元帥は今回攝政殿下に國書を捧呈し其他朝野名士とも會合すべく其の結果日佛兩國は今後益々親善の度を加へる事となるのは慶賀に堪へぬ次第であります元帥に對して種々の國際的會合が有るそうですが有ゆる機會に於て熱誠な歡迎の催される事は喜びに堪へない事である私は佛國に關係ある人々に對して敬服の事等もあると思ひます』

まんげつふうぶんろく

▲蝶々會四の替（京城劇場）連日大入滿員の盛況を占め居れる喜劇蝶々會一行の四の替りは今七日初日にてその狂言は左の如し第一、笑劇『家出娘』一場、第二、喜劇『十六夜』三場、第三、社會劇『ゑにし』三場、第四、喜劇『腕』二場

▲浪花館六日 ▲落語（樂天坊）▲笑話、手踊（圓光）▲少年落語音曲（圓童豆）▲珍藝（社中）▲女流落語手踊（左近）▲高尾（圓雀）▲たらちね音曲手踊（寒蝶）▲不動坊（圓天坊）▲曲藝（左治）▲突どろ（圓）大切餘興（社中）

喜樂館（本町）五日晝間より特別映畫寶窟『ビュフの戰鬪』滑稽『ロイドの迷試し』人情哀話『また見ぬ親』五卷最終篇『陸軍のパール』四卷

中央館（永樂町）五日より新映畫、舊劇『將校教育』滑稽『百萬弗の交換』悲劇『赤格子九良右衛門』四卷活劇『さらはれし愛兒』四卷悲劇『涙の結婚』四卷

けふのメモ（七日）

土曜 ▲乙亥 ▲先負 ▲舊曆十二月十日 武內宿禰始めて大臣となる（成務帝三年）

▲七草 ▲總督記者團招待（午後六時より官邸）▲愛國婦人會茶話會 午後一時より京城倶樂部既報六日開催とあつたのは誤り

【人湯婆】

▲五日の夜京喜久で開かれた大日本麥酒の新年宴會には餘興として長唄新曲『旭光照波』の手踊りがあつて大喝采を博した▲お膳の上におかれた番組を見ると作者『みの字』とある『一體此みの字と云ふのは何者だらう』と忽ち一座の話題の中心になつたが▲圓道此人が銀時計組の工學士で長唄の師匠杵屋佐多枝のお婿さんであらうとは如何なお釋迦さんでも御存知なからう▲聊か舊聞に屬するが舊臘花月で催された愛婦の忘年會で務局長の丸山事務官、時計が一時間も遲れて居るのに氣が付かず『まだ早い〳〵』と腰を据て遣つて居る中にトウ〳〵夜が明けたので例の頭をツルリと撫でゝ『イヤ是は驚いた』

驚くべき大雜誌

此の大雜誌あるは我國の誇である積み重ねると高さ富士山の二倍半雜誌を解して其紙を繼ぐと地球を貫いて餘り千八百里

某雜誌は新年號分に…出來ようといふことである。何れの書店も雜誌しい雜誌で飾られてある。色どり鮮かに、新入から可愛らしい幼年幼女の雜誌も多く婦を觀ふものは婦人雜誌、その中に大正然と積み上げられた大部の雜誌は所謂講談倶樂部…する『講談倶樂部』である。これは數ある雜誌中、實に日本一の雜誌を受けられるのは何れかと、說んだ興味を起して調査をして見ると驚いたのは講談倶樂部だ。一部の厚み凡そ一寸一分あつて、試みにしただけ積み上げると二万七千尺、富士山の高さの二倍半に近いといふことになる。僕の揃さ…七寸二分餘、之を一列に並べると八万千餘尺、一道路上を東京から鎌倉又は鎌倉と短すこと二回、文は箱根其他觀光地…二百四枚、之を一枚づゝに解して…すれば四千八百十一里、地球を貫いてまだ千八百里も餘る。日本の千島から台灣の端まで山といはず海といはず四列に並べて…十里、…を步むに晴雨一年と百十六日かからねば踏過する事が出來ない。一部…百四十餘匁、…千二百五十貫、若し馬車を借るとすれば實に千二百頭、大東京を…の果より南の端まで行列が續くことであらう。之は『講談倶樂部』一回の發行高に過ぎない。茲に於て我が講談倶樂部の隆況も略知れる。

…飛ぶ一の雜誌が國民性にピッタリ當て嵌つて紳士によく淑女によく…といはず商人といはず殊に…、此の雜誌だけは天下万人恐らく一人も歡迎しないものはないといふことであろう。…武勇あり出世談あり、人情の…、だから此の涙も笑も…の雜誌…趣味の…として…ることを…ならないのは…。今日といへども…此の雜誌…を見ない家は…。

…講談倶樂部…は東京…『現代』『面白倶樂部』『婦人倶樂部』『少年倶樂部』がある。何れも…の大雜誌…

資本金貳千萬圓
頭取 安田善次郎
株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町一丁目
電話長五八番・一九三四番
振替貯金京城一三一番
銀行一般の業務稟々御便利に御取扱申候
匯換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

攝津灘石崎株式會社釀造

第四回決算報告
（自大正十年五月一日至大正十年十月卅一日）

貸借對照表

資產ノ部	
拂込未濟資本金	[illegible]
建設費	[illegible]
假拂金	[illegible]
未收入金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債ノ部	
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
未拂金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
政府補助金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分	
當期利益金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
株主配當金（年八分一株ニ付金貳拾錢）	[illegible]

大正十年十二月二十六日
朝鮮森林鐵道株式會社
取締役社長 大川平三郎
專務取締役 長谷川太郎吉
取締役 田中榮八郎
取締役 八木武三郎
取締役 藤田好三郎
取締役 下…
取締役 島…
取締役 熊澤甚之助
取締役 永田德一
取締役 松之候也
常任監查役 伊東…
監查役 渡邊…
監查役 阿部長次郎
監查役 韓相龍
監查役 藤本…

民衆化せる
胃病良藥
太田胃散
にヨクキク
飲過ぎ食過ぎ
價 廿五錢 五十錢 一圓
東京 本舖 太田信義藥房

よりシャツ
二枚一組 貳圓七十錢

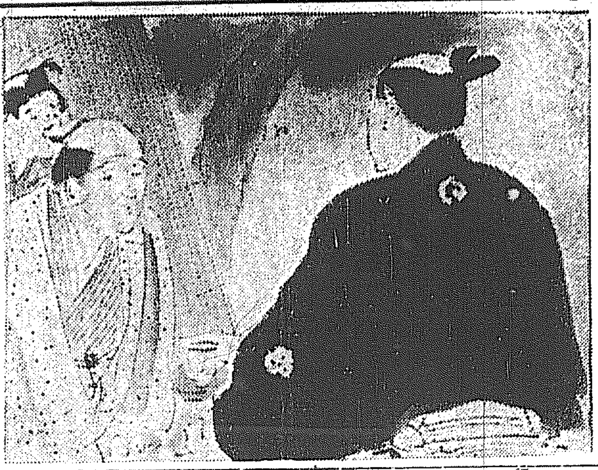
若い美しい男女の
◎裸寫繪草紙◎
生殖をんなの
金鈴堂

寛永御前試合

少金井芦洲講演

第一八八席

○『ア、小僧々々』小僧『ハイお前も草臥たらうから、此處へ掛けなさい、私も掛けやう』小僧『ハイ』○『ヤレ／＼草臥た、ヤドッコイショ』爺『旦那樣少しお憩りございますがお一つお召がんなさいまし』○『是は／＼』爺『サアお小僧さんも』小僧『有難うございます』爺『エヽ旦那樣只今お憩りでございますが』○『アヽ今憩りだ』爺『左樣でございますか、御新造樣も皆さんもお達者でございますか』○『イヤモウ達者にも何にも皆んなピン／＼して居るよ』爺『夫は結構でございます』○『何しろお前の處も何時も繁昌して宜いな』爺『有難う存じます』○『まあ何しろ結構だ、お前も既う六十に近いが年の割に丈夫だのう』爺『ヘエ有難う存じます、今年五十八でございます』○『然うかい、何しろ達者で結構だ、乃公も今年六十だ』爺『ヘエ然うでございますか、旦那樣なんざア幾歳お年を召しても私共のやうに色艶のなくなる氣遣はございませんから、何日もお若くて在つしやいます』○『ヤ乃公は爭はれんもんだて、いくら若く見えても駄目だアハ……』彼の旦那と呼ばれる六十ばかりになる品の可い爺さん掛茶屋の爺と話をしながらパクリ／＼と煙草を吸つて伴五郎の頭の尖邊から足の爪先まで見下し見上げ、ヂロ／＼と容子を見て居る、伴五郎も茶を飲み菓子を喰ひ煙草を吸ひながら『世の中に無禮千萬な爺があるものだ何だつて人の容子をヂロ／＼見やアがるのだらう』と下を向いて居ると、彼の老人も少し躊み加減になつて下から窃つと伴五郎の顏を見上げて何か頻りに考へて居る『變な爺ぢやないか、人の顏を覗いては考へて居やアがる、ハテナ、乃公の顏へ何か附いてゐるのではないか知らん、附いてゐるなら居るで此の掛茶屋へ這入つて來た時此處の爺が知らせて異さうなもんだが忌や穢な氣味の惡い爺があつたもんだ、何だらう、此の爺、茶屋の爺の譯つ振りでは此の近所の者らしいが、變な奴もあればあるものだと獨りで窃しく思つて居ると、彼の親爺は煙管を筒に入れて○『エ、旦那樣御免下さいまし、旦那樣は武藝御修行のお方樣とお見受け申しましてございますが失禮ながらお劍術の御修行でいらつしやいますか』伴『否や、拙者は劍術の修行ではない』○『ハヽア左樣でいらつしやいますか、失禮ながらお見受け申すところお年若の二十三四にもお成り遊ばす、筋骨逞ましく六尺豐の立派な若先生でいらつしやいます、劍術を御修行あそばしませんで槍でも御修行あそばしまするんでございますか』伴『否や槍でもない』○『ヘイエ、左樣でございますか、お弓でも御修行遊ばさるんでございますか』伴『否や弓でもない』○『失禮でございますが、何を御修行あそばすんでございます』伴五郎『此の中で餘計な事を聞きたがる奴もあればあるものだと思つたが伴『拙者は柔術の修行をいたす者だ』○『ヘヽエーお柔術の御修行でございますか、お劍術弓術なんと云ふ御修行の方は些／＼お見受けいたしましたが、お柔術の御修行は餘りお見受け申しませんでございます……エヽ誠に度々失禮で恐れ入りましてございますが、お言葉の御容子では江戸表のお方の樣にお見受け申しますが』伴『アヽ拙者は江戸だ』○『ハア左樣でございますか、江戸は何の邊でございますか』五月蠅奴もあればあつたものと思つたが伴『東海道の入口の品川だ』○『ヘヽエー品川でいらつしやいますか、品川の仁右衛門横町と申しまする處に柔術の大先生で、繩川繩龍軒樣と仰有るお方が御立派な御道場をお出しなされて御門弟も千人餘りもお取立てなすつて在つしやると云ふ事でございますが、貴方樣も矢張り繩龍軒樣の御近所にお住まひでございますか、または繩龍軒樣の御門人でいらつしやいますか』○『ハヽア此の老人拙者の親爺の名前を存して居るな、此老人何者だらう。



流寒風熱ニ一番ヨクキク複方ピラミドン
販賣店各地藥店ニアリ
龍山元町二ノ八八
本舖 林藥房

物理療法

施術は毎日五時迄

御用命の方は我社代理部へ御出下さい

▲エッチカーレントヂアテルミーとは根本より別物です

▲ケイ、エス式（エックス光線）フアラヂアテルミー等十種の物理療法が出來ます、近時歐米では盛んに研究應用されて居りまして其の適應症に對しては技術と相俟つて驚くべき効力を表はします

▲神經痛やリウマチス、脚氣、腰痛、肋膜炎、腎盂炎、慢性腎臟病、腹膜病等は速かに全治します。

▲婦人病で年中フラ／＼して居る者や慢性の肋膜炎、腹膜炎等にも非常に効力が有ります

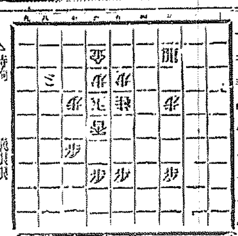
▲るいれきは切らずに全治し痔病や頑固な皮も癒ります

懸賞詰將棋

第四十回課題

出題者 藤吉末光治

▲持駒 飛銀銀



募集規定

賞金 一圓

入賞者 一名

正解多數の時は抽籤にて定む

締切 一月十五日

注意 用紙は葉書に限る宛名は京城日報社將棋係

家庭療法

赤い小豆の効能

昔から赤小豆は輕微な淋病や消渇脚氣などに特効があるといはれてゐるのは、大小便の通じを能くするといふ小豆に於いて非常な効能があるからでそれは赤小豆と板昆布を一緒に煮て其の小豆だけを一日一合か一合五勺宛として數日連食しますと如何に頑固な便秘症でも必ず便通があるに徴しても明かです

一月八日

（舊十二月十一日）

▲日曜日 ▲丙子 ▲一白 ▲暗劍北方 ▲佛滅 ▲虚宿 ▲閉

▼一白▲外面はよく見えても實際は不印の日。謹きを守りさへすれば安全

▼二黒▲不得手につけこまれ易く大事は徒勞に歸する日。常識旅行見合せ

▼三碧▲小事には可ならざれど大問題は案外譯もなく解決する。待人來る

▼四緑▲外に活動するよりは内にありて計畫樹つるに利。女子の獨立に妙

▼五黄▲品澤山商内潤の日。何事にも辛抱が第一。他人の世話事は一切禁物

▼六白▲運氣は概ね平穩なるも出費多かるべく旅行見合せ。盜難失物用心

▼七赤▲當選を意味する日。出度き日持越せし難問題を片付くるにも妙

▼八白▲何かと喰ひ違ひ多く他人の事よりも自分の身を大切にすべき日

▼九紫▲細心の注意を拂はざれば存外の損失を招く。無慈悲にして更に因

謹賀新年

野本組 野本榮太郎 營業所 平壤、釜二浦、龍山

釜二浦 久保田組出張所 電話四二番 本店 大連市

釜二浦貸座敷組合

大興電氣株式會社 金泉支店

伊藤吳服店 大邱府元町 電話一五十番

新春より音樂隊を設備仕候 大邱 樂天食堂 電話七三番

大邱名産 林檎酒釀造元 西田農場販賣部 大邱驛前

小口組朝鮮主任 馬場國藏 大邱府八雲町

大邱 世良朝吉

朝鮮中央鐵道株式會社 大邱府幸町

釜二浦 橋本組 電話一〇〇番

朝鮮京城旭町二丁目七十八番地 横濱火災海上保險株式會社 京城出張所 長電話一八二九番

奥田洋服店 京城永樂町二ノ二四 電話六六一番

韓文洋行自働車部 行主 文明琦 大邱驛前

大邱府尹 松井信助

大邱府元町 日進堂寫眞部 堺順藏

大邱府上町 寫眞 獨立軒 竹内喜重 電話五二六番

大邱本町公立尋常小學校 職員一同

大邱公立高等小學校 職員一同

大邱鳳山町公立小學校 職員一同

金泉 伊藤季薰

大邱 若林勇 赤澤竹太郎 池田輝實 龍田金之助

辯護士 從五位 堀池常作 大邱府南龍岡町 電話二五二番

釜山富平町三丁目 田代製粉所 電話四六八番

釜山長手通 寺田商店糖粉部 同 寺田商店製菓部

釜山南濱町一丁目 海産物問屋 伊藤庄之助 電話三三番

朝鮮京城管理局運輸課釜山派出員兼鐵道局釜山營業所主任 岡村正雄

釜山牧島埋築地 土地管理局 樋口利春

釜山富平町一丁目 土木建築請負 千歳定吉 電話四九〇番

釜山府立病院 院長 池上五郎

釜山郵便局 小島源藏

土木局釜山出張所 榛葉孝平

釜山稅關 松井房治郎 蘆田彌壽治 板垣只二

釜山府廳 本田常吉 寺島利久

慶南岩南牛島 獸疫血清製造所 望月瀧三

釜山本町一丁目 小宮萬次郎 電話二〇番

釜山本町三丁目 貿易商 白山貿易株式會社 電話長一〇七番 一〇七五番 一〇七六番

釜山水産株式會社

釜山高島町 大阪商船株式會社 釜山支店 電話長一一番 同八五四番 同七一四番

東洋燐寸株式會社 釜山出張所 マッチ 製造 輸出 電話二〇八番

釜山窯業株式會社

京釜線龜浦 朝鮮纖維工業所

釜山穀物信託株式會社

釜山 ホームリンガー商會 電話長五四五番

釜山府高島町 釜山埋築會社 電話長二八一番

釜山 朝鮮瓦斯電氣株式會社

釜山大倉町 釜山運輸合資會社 白垣啓四郎

釜山草梁 釜山商工株式會社

釜山本町五丁目 村上幾藏商店 電話長一五番 振替京城一四五番 受信略號(ム)又(ムラカミ)

釜山本町二丁目 内外雑貨卸商 近江屋商店 戸所他吉

銅鐵、錫、鉛、亜鉛、其他雑貨類 釘、平板、浪板、亜鉛引鐵線類 釜山埋山新町 今 英友次郎商店 電話長四六番 振替京城七二四六番

釜山埋立新町 貿易商 豊田福太郎 電話長一七番

慶南東萊溫泉場 溫泉旅館 蓬萊館 電話東萊五番

釜山木材賣買商組合

（いろは順）

橋本材木問屋 西村材木問屋 若狹材木店 和田材木店 田口材木店 俵材木店 大二商會 宅和材木店 長野材木店 中村支店 村井材木店 山田材木屋 山本材木店 山田材木店 正惣材木店 正木材木問屋 藤田材木店 坂田材木店 更家材木店 佐々木材木問屋 木村材木問屋 宮畠材木問屋 三谷材木問屋 新原材木店 島末材木店

釜山府琴平町 弘中電氣商會 電話九三九番

釜山府本町二丁目 五島合名會社

釜山大廳町三丁目 日本建具株式會社 釜山支店

釜山精米組合

釜山船具商組合

株式會社 川北電氣企業社 釜山出張所

釜山驛前 釜山火藥銃砲株式會社 取締役社長 大沼和藏 同常務 佐藤榮吉 同 寺山佐太郎

釜山府高嶋町 岩橋通關運送本店 岩橋一郎

釜山富平町三丁目 横江川鐵工所 電話六三三番

釜山府辨天町二丁目 和洋家具 林家具店 電話一四七番

釜山府 砂糖麥粉卸商 内藤八藏商店 電話六九七番

釜山埋立新町 貿易商 協信洋行釜山出張所 主任 畑伊三郎 電話長六三一番

釜山活動常設館 寶來館 國際館 相生館 幸館

辯護士 釜山大廳町一丁目 澤田梧樓

辯護士 釜山大廳町二丁目 安武千代吉

辯護士 釜山西町二丁目 青山暢性

辯護士 釜山大廳町二丁目 佐々木清綱

辯護士 釜山西町一丁目 森浦熊藏

釜山倉庫業 倉友會

統營敷島町 郵便局指定 御旅館 東雲旅館 電話七一四三番

晉州 望月旅館 電話二八番

平澤驛前 會席御料理 第三北一樓

米雑穀貿易商 岩重健助商店 電略(イ)又ハ(イワ)

平澤驛前運送店 照崎運送店

株式會社 朝鮮商業銀行 平澤支店

水原城内 清木旅館

平澤驛前 桂圭一

平澤驛前 米雑穀貿易商 垣内恒太郎商店

水原城内 會席御料理 一二三亭

水原城内 會席御料理 いろは

取引所法は通過せん

信託法案も協贊確實ならん

大阪證券交換所社長 武内作平氏談

日鮮信託會社創立の用務を帶び今朝入京せる武内代議士は車中往訪の記者に語る

予は今期議會に於て取引所法の起草委員として九日迄に東上の必要に迫られ居りしも

日鮮信託會社 の設立亦急を要する義務減少せり元來此種會社は莫大の資本を要し三千萬圓程度を有力なるも當初五百萬圓に決定せし譯今後に增資し漸く先づ朝鮮側發起人とも協議の上一千萬圓程度となさんものと考へ居れり、大阪株式取引所と證券交換所との合併は過般二十七日成立諸種の都合上三月三十一日を以て實行することゝなれり取引所法は昨期議會に於て握り潰しに逢ひたるも本年は通過すべく、內容も大なる變更なかるべく信託法も政府議會を終り今期議會に提出せらるべきが之も亦通過すべく取引所法及信託法の協贊は極めて朝鮮に於ける此の種法規

制定の基調 ともなるべし

今後の朝鮮に於ける事業計畫に就ては朝鮮側有力者と意見を交換し出來得る限り一致提携の歩を進むる考へなり昨年末は內地金融界も相當繁忙なりしが之は例年のことにて一陽來復の氣は相當に漲り居れば財界も亦活氣を帶び來るべし

下半銀行業績

配當は前期同樣

京城に於ける各銀行は客臘三十一日を以て下半期決算を締切り本月二十日前後總會を開催し利益金處分案を附議すべきが其配當率は殆ど全部上半期同樣なり各銀行別に業績を示せば左の如し

朝鮮商業銀行 朝鮮商業銀行にては來る一月二十一日午後三時銀行會議所に於て第三十一期定時株主總會並に臨時株主總會を開催すべきが其會議の目的事項及今期利益金分配案左の如し

定時總會の部

一、第三十一期營業報告書貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認の件

二、第三十一期利益金分配案議決の件

臨時總會の部

一、支店設置の件

二、定款變更の件

利益金分配案

當期純益金	一一六、一三九、七七
前期繰越金	二二、五〇六、一二
計	一三八、六四五、八九

此の分配計算左の如し

缺損補塡積立金	一五、〇〇〇、〇〇
別途積立金	一五、〇〇〇、〇〇
配當平均積立金	八、〇〇〇、〇〇
配當金年一割(政府所有株を除く)	六八、三〇二、五〇
重役賞與金	一〇、〇〇〇、〇〇
後期繰越金	二二、三四三、三九

韓一銀行 韓一銀行にては來る二十日午後三時同行會議室に於て第三十一期定時株主總會を開催し營業報告其他の承認案及利益金分配案を附議すべきが同行今期業績は預金三百四十六萬五千四百三十三圓貸出金五百七十五萬三千八百十圓にして前期に比し預金は舊歳正月の關係上三十萬三千七百十四圓を減少し貸出金は五十七萬三千二百五圓を增加し利息の搬込等豫想以上の好成績を收め結局利益金に於て前期より約一萬圓を增加したり今期利益金分配案左の如し

當期純益金	一二三、三一九、九二
前期繰越	一三、六八二、九〇
計	一三七、〇〇二、八二
內	
法定積立金	一三、〇〇〇、〇〇
別途積立金	一三、〇〇〇、〇〇
舊株配當金(年八分一株に付一圓)	二〇、〇〇〇、〇〇
同再配當金(年一分一株に付二十五錢)	二、五〇〇、〇〇
新株配當金(年八分一株に付一圓五十錢)	四五、〇〇〇、〇〇
同再配當金(年一分一株に付十八錢七厘五毛)	五、六二五、〇〇
役員賞與金及慰勞基金	一〇、〇〇〇、〇〇
職員恩給基金	二、〇〇〇、〇〇

漢城銀行 漢城銀行にては來る二十一日午後一時同行會議室に於て第三十三期定時株主總會を開催し營業報告其他の承認案及利益金分配案を附議し尚監査役金用集氏滿期につき之が改選を行ふべしと而して同行今期業績は預金一千五百二十五萬八千七百七圓貸出一千六百九十五萬二千五百四十二圓にして前期に比し預金四十一萬八百六十二圓貸出二百十萬四千百七十七圓を共に增加し加ふるに昨年八九月頃の中間決算時代に於て業務極めて順調に運び各支店に於ては米穀等の爲め利息の搬込等も豫期以上の好果を收め大體を通じ前期以上の好績なりしが今期配當は年九分なりと

手形交換規約改正

不渡制裁嚴重を加ふ

近來京城に於ける不渡手形の數著しく增加せる結果之が對策の意味に於て年末京城組合銀行手形交換所各員會協議の上從來の規約を變更し不渡手形にして規定の時間內に入金なき者は一回と雖も直に組合銀行の當座取引を二ヶ年間停止することは勿論從來の一年間三回手形の不渡を爲したるときとあるを二回に改定する事に決議し大正十一年度より實行する事に協約せり卽ち不渡手形にして規定の時間內に入金濟となるも之を二回繰返す者は直に組合銀行の當座取引を二ヶ年間停止する結果となり不渡制裁一層嚴重を加へたる次第なれば各銀行取引者は充分の注意をなす要あるべしと

朝鮮銀行總會

朝鮮銀行にては二月十六日東京丸の內銀行集會所倶樂部に於て定期株主總會を開催し營業報告其他の承認案及利益金分配案を附議する由

日鮮信託進捗 大阪側發起人入京す

日鮮信託株式會社の創立事務は大に進捗し過般來上阪中なりし當地發起人成潤竹氏は三日夜歸任せしが經過頗る良好にして內地側發起人は四日現在七十六名に達し京阪財界知名の士を網羅し武內久我兩氏の外大阪府市商業會議所會頭稻畑大阪三品理事長今西林三郎大阪株式取引所常務理事宮崎敬介堂島取引所常務理事吉田武衞、例の相場界の巨頭石井定七氏の猛丈入早瀨太三郎の諸氏等凡て大立物ばかりにて創立委員長武內作平氏

京取仲買人大久我金三郎吉田武衞、藤尾直勝の四氏は今朝入京朝鮮人側發起人と打合中なり

新仲買開店準備

京取新仲買人は既報の如く昨年十二月二十八日其筋の認可を得京城櫻下假事務所中河原雅吉、白築三、張徹衡、李東啓、仁川、中村伍郎、藤川市川幸次郎の七氏にして一ヶ月間に開業すべき規定あり營業所を物色する等開店を急ぎ居れり

京城金融 預金貸出增加

京城組合銀行客臘末現在預金貸出總額は預金合計五千九百五十六萬九千四百九十四圓貸出合計八千五百四十二萬九千二百八十八圓にして十二月十五日現在に比し預金二百二十五萬七千七百六十九圓貸出四百八十九萬七千三百五十八圓を共に增加し更に九年十二月末現在に比すれば預金六百十六萬九千六百五十一圓を減少し貸出二千五百六十九萬八百九十九圓の增加を示せり其內容を示せば左の如し

預金	十二月末現在
定期預金	二七、〇一九、九六七
當座預金	一三、六四九、四三四
特別當座預金	一三、三二三、九七五
諸預金	五、五七六、一一八
計	五九、五六九、四九四
貸出金	
貸付金	三三、〇二七、一五二
當座貸越	四、三四一、五五三
割引手形	四七、一〇五、四五八
荷爲替手形	九五五、一二五
計	八五、四二九、二八八

仁取重役會

仁川取引所重役會は六日午前十一時より取引所樓上にて開催協議事項は新株割當に關するが如く十六日八阪機にて大株主會を開催して意見を聞くべしと

東亞株主總會

客臘東京に開催せる東亞煙草株主總會に於て同社事業は繼續することゝし五分配當を可決し重役は現任の儘となすことに決定せり

朝農理事會

朝鮮農會にては七日午後三時より南米倉町京城倶樂部に於て理事會を開催し本年度大體の方針及産米改良の研究等に付協議する由

客月手形交換高

京城組合銀行客年十二月中の手形交換高は枚數十二萬四千五百卅八枚金額六千五十三萬三千五百六十圓にして十一月中に比すれば一萬一千二百二十一枚一千二百二十八萬三千三百五十五圓を增加し更に九年十二月中に比すれば枚數三萬七千五百六十六枚及金額二千三百二十一萬八千六百九十三圓の增加を示せり而して昨大正十年一月より十二月に至る手形總交換高は枚數六十二萬五千四百四十三枚金額三億一千九百四十六萬一千七百六十八圓なり

○日銀帳尻 三十一日現在左の如し

發行高	一、五四七、五四六
正貨準備	一、二四五、五七四
發行餘力	一八〇、九七一
貸出高	三七四、四四二

○朝鮮銀行券 四日現在左の如し

發行高	一三三、九九八、二三三
正貨準備	四八、二五七、九六三
限外發行	三五、七四〇、二六九

○京阪金利 四日左の如し

	東京	大阪
コール 無條件	二、三〇	二、七〇
翌日物	二、〇〇	二、五〇
六十日物	二、四〇	二、七〇
普通割引步合	二、五〇	二、四〇

株式 (六日)

現株市場出來値

銘柄		前場今週中	前場來週中	後場今週中	後場來週中
京取	寄	一〇一、一〇	一〇一、一〇	一〇一、七〇	一〇二、〇〇
仁取	寄	一二八、〇〇	一三〇、〇〇	一三〇、五〇	一三五、〇〇
鮮銀	寄	一二六、一〇	…	一二六、〇〇	…
同新	寄	三六、五〇	…	三六、五〇	…
殖銀	寄	四四、五〇	…	四四、五〇	…
同新	寄	一五、三〇	…	一五、三〇	…
實銀	寄	九、一〇	…	九、一〇	…
商銀	寄	四〇、〇〇	…	四〇、〇〇	…
同新	寄	三一、〇〇	…	三一、〇〇	…
漢銀	寄	五七、〇〇	…	五七、〇〇	…
同新	寄	九、一〇	…	九、一〇	…
韓銀	寄	三六、〇〇	…	三六、〇〇	…
東拓	寄	六二、〇〇	…	六二、〇〇	…
同新	寄	一九、五〇	…	一九、五〇	…
鮮土	寄	三一、〇〇	…	三一、〇〇	…
朝紡	寄	三一、〇〇	…	三一、〇〇	…
滿毛	寄	一五、五〇	…	一五、五〇	…
京電	寄	五四、〇〇	…	五四、〇〇	…
同新	寄	四二、〇〇	…	四二、〇〇	…
電興	寄	六三、五〇	…	六三、五〇	…
朝郵	寄	三八、〇〇	…	三八、〇〇	…
殖鐵	寄	八、五〇	…	八、三〇	…
中鐵	寄	三八、〇〇	…	三八、〇〇	…
滿鐵	寄	一六、〇〇	…	一九、〇〇	…
同新	寄	三一、五〇	…	二四、〇〇	…
東亞	寄	三、〇〇	…	三、五〇	…
同新	寄	…	…	…	…
京信	寄	三〇、〇〇	…	三〇、五〇	…

乙の部

銘柄		前場今週中	前場來週中	後場今週中	後場來週中
安取	寄	三七、五〇	三八、五〇	…	三六、一〇
大新	寄	三六、〇〇	…	三六、〇〇	…
上取	寄	三三、〇〇	…	三三、〇〇	…
新東	寄	三〇、〇〇	…	三〇、〇〇	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	一〇一、四〇	一〇二、〇〇	一〇二、六〇	一〇〇、九〇
京取	後	一〇一、九〇	一〇三、七〇	一〇四、〇〇	一〇一、五〇
仁取	前	一六〇、〇〇	一六八、〇〇	一六九、〇〇	一六〇、〇〇
仁取	後	一六七、七〇	一六七、七〇	一六八、四〇	一六七、〇〇
大新	前	一三五、〇〇	一三五、〇〇	…	…
大新	後	一三五、五〇	…	…	…
滿毛	前	…	…	…	…
滿毛	後	…	…	…	…
朝紡	前	三一、〇〇	…	…	…
朝紡	後	…	…	…	…
東新	前	九〇、五〇	…	…	…
東新	後	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
拓新	後	…	…	…	…
安取	前	三六、五〇	三七、七〇	三八、五〇	三六、五〇
安取	後	三七、五〇	三八、〇〇	三八、三〇	三七、五〇

出來高

甲部	千七百枚
乙部	七百九十枚
短期	二千五百枚

累計

甲部	三萬八千三百枚
乙部	一萬九千七百六十一枚
短期	六萬千四百四十枚

東京現株

銘柄	六日前場	日後場
鮮銀	一二五、二〇	…
同新	三七、七〇	…
東拓	六一、五〇	…
同新	一九、五〇	…
滿鐵	一一九、〇〇	…
同新	二四、三〇	…
殖銀	五四、三〇	…
同新	一五、三〇	…
東株	一五七、〇〇	…
同新	一二九、五〇	…
運取	一六一、〇〇	…
滿毛	一五、二〇	…
朝紡	二一、〇〇	…

大阪株式

銘柄	六日前場寄付	後場大引
大株	一六五、〇〇	…
同新	一二六、七〇	…
郵船	一三二、九〇	…
同新	四八、〇〇	…
商船	五八、六〇	…
同新	一九、〇〇	…
鐘紡	三三三、一〇	…
同新	一二九、七〇	…
東紡	一四〇、六〇	…

銘柄	六日前場大引	六日後場寄付
大株	一六五、二〇	一六六、五〇
同新	一二八、八〇	一三〇、六〇
郵船	一三二、九〇	一三四、三〇
同新	四八、二〇	四八、六〇
商船	五八、七〇	五九、〇〇
同新	一九、〇〇	一九、一〇
鐘紡	三三四、六〇	三三六、〇〇
同新	一三一、〇〇	一三三、九〇
東紡	一四〇、〇〇	一四〇、五〇

大阪延取引

○六日前場

銘柄	寄付	大引
大新	一二五、七〇	一二六、九〇
鐘新	三一四、五〇	三一六、五〇
天取	七九、七〇	八〇、〇〇

○六日後場

銘柄	寄付	大引
大新	一二六、五〇	…
鐘新	三一八、〇〇	…
天取	八〇、一〇	…

安東株式

○六日前場

	寄付	大引
安取 當	三五、二〇	三四、六〇
安取 先	三五、三〇	三四、五〇

前場は好勢

年末の氣配高に似ず初相場は賣方の自重に依り極めて穩やかなる寄合を告げたので反動安の懸念全然薄らぎ相場に一段の堅實味を加へ來つて祭日明けの今朝は一般に氣強く京取は稍伸悩みの姿を呈したが安取の活躍に刺戟されて反動安の商狀に轉ずるなど人氣の安定を護するものと見られ場かつた卽ち京取の短期は百一圓四十錢と寄りメイ九十錢迄ダレたが漸次盛り返して二圓六十錢の高値を見せ二圓と引けて七十錢高今週十錢高來週同斷に保合ひ仁取は

今週十三圓高

來週十圓高短期十四圓八十錢方暴騰

安取は今週三十七圓三十錢の一値にて

二圓二十錢高

來週は七圓八十錢に寄り九圓の高値ありて八圓五十錢と引け

二圓七十錢高

短期六十圓七十錢に寄り跡七圓より八圓四十錢に躍騰したが吹値は利喰物に押されて七圓九十錢と下押し更に八圓臺に引返して四五十錢處を採み七圓七十錢と引け

二圓高

其他大新京信は概ね保合つたが氣配は底堅き商狀であつた

後場京取高

前場の好勢を受けて後場も一般に强調を維持し殊に京取は大新の後寄百三十圓臺を入れて買氣大いに昂かり短期一圓九十錢と寄つたが跡一圓五十錢と飛び更に漸進を續けて高値四圓トタを付け三圓七十錢と引けて

一圓七十錢高

今週一圓七十錢と廻り三圓五十錢と躍進し八十錢と引け

一圓九十錢高

來週三圓に寄り四圓八十錢を高値として四圓四十錢と引け一圓九十錢高仁取

今週二圓五十錢高來週五圓方續騰

したが短期は八十圓と五圓方下放れ跡三圓五十錢迄引戾し一圓四十錢安安取は今週出來ず來週は地場安値も利かず八圓十錢に寄りヂリ〱引上げて九圓と引け五十錢高短期七圓六十錢に寄り八圓三十錢を採み八十錢と引け一圓十錢高

京取は手堅い

京取は年末納會後の暗氣配頗る强調を唱へ初相場は恐らく百五六圓處ならんと期待さ夫れ以上の高値に寄れば跡は又百圓搦みに下押す懸念もあるが若し以下に寄付けば相場に堅實味を加へてヂリ高を繼續すべしとの見越は一般に行はれし處であるが初相場は果然人氣强調に突飛高を演ぜず極めて堅實な寄合を告げたことは人氣の安定を助け今一歩內地が添ふて來ない憾みはあるが機會さへあれば伸力は確かに潛在して居る模樣がありまだ腰入れた買方も現はれぬが之れは引受株店替りに就いては其後も內地の資本家に交渉を重ねられつゝあり愈々成立した後では相場に取殘される恐れもあり押目は今から買つて機會を得たうといふ人氣であり出來高も新南以來激增しつゝある現狀だから百圓臺は手堅いものとされて居る

仁取の奔躍

仁取は初相場に大市飛びを演じて今朝更に十三四圓方爆發した相場の上る割合に出來高の少ないことは浮動株のカスレて居る證據であるが三百萬圓の株の割當てを受くると云ふ噂も一株半は確かであり新株を幸まずとも二百圓の價値ありと見て新株一株の權利は百五十圓となり之れが一株半は二百二十五圓之れを七掛にして百五十圓はあるから三百五十圓迄は買はれると强氣は云つて居る

安取續騰す 五十圓目標

安取は二十四圓臺を底として急激の戾足を續け今朝は來週物三十九圓高値あり將に四十圓に突掛けんとする勢ひを示したが右は重に現信筋の買物と云はれ一面鮮人筋も能く買付けた結果であるが安東信託の成立後は常に市場に於ける京取京信の關係となつて居る[illegible]恐らく現在の業績に三倍する好況を呈ずべく現信筋で既に總株數の過半數を[illegible]更に二三の花形株を加へて株式の直キ取引も開始する豫定であるとに始め[illegible]日利喰されて居るのが現信筋で[illegible]に活躍せんとする現信一派が此の場合向後安東に進出して大いに利喰を急ぐとも信ぜられず信託會社の進捗と共に五十圓相場は一般に見越されて居る模樣である

大阪株式取引所仲買人
(株) 象龍太郎商店
大阪市東區北濱一丁目
電話本局 八二一 八二二 八二三 八二四 …
あにたむ經濟雜誌無代進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
米 象忠次郎商店
大阪市北區堂島濱一丁目
電話北 一六二五 一三七一

初相場豫想 當選者發表

本社懸賞初相場は京取株短期寄付は百一圓五十錢仁川期米三月限一節公定値段は三十一圓となれるが應募總數七百五十三人中京取の分は左の六名の的中者ありたり

京城大和町三丁目四七 金東鎭君

京城長沙洞 山中幾次郎君

京城府明治町二丁目八七 金百熙君

南源兵衞商店內 竹下末義君

慶尙南道咸陽邑 根占壽滿君

京城和泉町一 京城明治町一丁目七 尾河八彌君

規定により公平なる抽籤の結果賞金受與者は左の二氏に決定せり

尾河八彌君 金百熙君

又仁川期米は的中者なく最も近き左の二氏に賞金を贈呈することゝせり

京城本町五丁目三六 加藤福亮君(三十圓八十九錢)

仁川丸カ仲買店內 幸吉君(三十一圓十錢)

米況 (四日)

仁川期米 前場頭重し

年頭ボケに二百丁余の不勢に初會せしが正米の形勢面白からざると阪地の氣配軟弱に今朝は當出來ざりしも中三十圓〇一錢と二十一丁安に始めしかは先三十一圓丁度と寄付きたり

▲第二節 大阪寄三十六圓八十九錢と初會の止め値と變らず當二十九圓五十錢と始め中三十圓〇一錢より五錢と締り先三十圓九十九錢に寄付き一圓〇三錢と締りし幾先大阪二節七十錢の安移りに又復軟派の賣氣を刺戟して中限は遂に三十圓臺割れの二十九圓八十八錢と崩れ先三十圓八十錢と叩かれしが買方の中先乘替へ買びに九十四錢と小戻して引

▲第三節 當出來ず中八十五錢より買方の乘替へ賣りに七十錢と叩かれ大阪三節七十六錢の小戻しを受けて八十錢と戻し先八十錢に始めしも乘替へ買ひ優勢に九十六錢と攻へ三錢と手堅く引

▲第四節 當出來ず中八十二錢より大阪跡八十八錢の小戻しに七錢と締り先九十五錢より三十一圓〇五錢と盛返したるも戻りは賣物に衰へず〇一錢と押し二錢と頭重く引

▲第五節 當二十九圓六十錢中九十錢に始めしも乘替へ賣り依然として衰へず七十五錢と叩かれ八錢と不勢な跡を呈したれば先〇五錢より九錢と締りしも〇一錢と忽ち叩かれ三錢と頭重く引

▲第六節 當出來ず中限六十錢より[illegible]を覆さし買方一派も中先の鞘開きに乘ずる軟派の迫賣に更に崩れ先三十圓八十五錢に始め再び崩れの三十圓八十五錢と押し七錢と不勢に大引せり

○六日前場

寄付	三一、〇〇
止値	三〇、八七
高値	三一、〇九
安値	三〇、八〇

○前場公定値 / ▲後場公定値

	前場公定値	後場公定値
一節	三一、〇〇	…
二節	三〇、九五	…
三節	三〇、九一	…
四節	三一、〇一	…
五節	三一、〇五	…
六節	三〇、九〇	…

帳入値段 當限 二九、五〇 中限 二九、八五 先限 三一、〇五

取引高 當限 五千五百石 中限 二萬二千三百石 先限 八千五百石

出來高 十八萬五千六百石

後場も往來

▲第一節 當出來ず大阪後寄三十七圓丁度の入電にて中二十九圓五十錢先三十圓九十五錢と八丁高に寄付

▲第二節 當四十五錢の寄止中五十錢より大阪の跡高噂さに六十錢と跳ねたるも跡薬潮れ移りにて三十錢と崩れ三十五錢引公定四十二錢先八十五錢より九十一錢と締り八十五錢引公定八十七錢

▲第三節 當出來ず中三十五錢より二錢と押し四十錢引公定三十八錢先八十五錢より八錢と高値に七十七錢を安値とし八十五錢引公定八十三錢

▲第四節 中四十五錢より五十錢あり四十七錢引公定四十五錢先大阪の跡高を受けて九十七錢より一圓十錢

買方の乘替

中先の鞘は僅かに百丁內外にて新米建として未だ乘替へに步あるのみか何れは先で不足の米と云ふ事が判り切つたる相場なれば戰線を延長なすが得策なりとの見地より中限を投退きて先限に乘替へんとなす向多きに反し軟派は鮮關係は兎も角此の三限よりは新米建の關係上吉米を渡すには非常に步惡き爲め飽まで賣玉を固持せんとする振合ひある等正米の形勢が一變せざる以上中先の鞘は百五十丁以上に擴大するや計り難し

正米壓迫甚し

昨年十月の新米高値四十一圓より現在中限の二十九圓五十錢を比較すれば實に千二百丁近くの暴落を演じ居れる譯にて阪地を始め其他の各市場を通じて何れも千餘丁も叩かれ來りたる相場とて此邊好餌の押目と見て買氣に適らんとするは無理からぬ事なり且つ凶作說の供給不足を拒み難き年納支けに弗々賣擊底の時期に近づきたるやの觀なきにならず併し昨出來秋に於て米商間に一齊思惑買を勃發せしめたる結果意外の高値に運び各集散市場は在米增加の一方となり延いては賣行不良に導きて今日に至れるのみならず關西內地取引先を廻りて歸仁せる某現物商の談によれば東京を始め阪神地方に於ける貨物の停滯せるものは開くに從ひて膨しく爲めに倉庫は大の不足を告げ朝鮮よりの移出米は十日乃至二十日以前に本船より積取りたる程なり殊に其原因が一般取引の不活潑なるよりも來れるものなるを以て米の如きも尙當分は買氣の復活は望み難き狀態にて眼先正米の壓迫は一層定期に加はらんかの形勢ありと

賣買差引殘

賣方		買方	
角ナ	一〇〇〇	丸イ	一七〇〇
丸ト	八〇〇〇	丸カ	四三〇〇
丸福	四〇〇〇	力	一〇〇〇
金太	七〇〇〇	又丸	三〇〇〇
入市	六〇〇〇	一	一〇〇〇
山市	三〇〇〇	丸ノ	二〇〇〇
三引	二〇〇〇		
丸吉	二〇〇〇		
丸一	三〇〇〇		
丸北	七〇〇〇		
ス丸	一〇〇〇		
丸龍	五〇〇〇		
丸合	二〇〇〇		
山り	一〇〇〇		
丸ウ	三〇〇〇		
丸マ	六〇〇〇		

米界餘聞

年頭高人氣で納會を告げた相場が正月早々三百丁も抛つて慘たる見ものとは[illegible]腰が立たなんだ結果である[illegible]▲相場が[illegible]の化け物見たやうに[illegible]居る米が大したものらしい▲相場の氣味を惡くする位か金融業者其れが爲めに大事を踏んで貸出しを警戒するなど假令根が供給不足と云ふ鳴物の入つて居る相場でも玆まで人氣が腐つては一寸買方の得意時代に復活する事は至難である▲殊に每年此の一月は餠腹で正米の賣行きが引立たぬ月であるから金錢の河流れと等しく尙當分は頭の上からぬのが本當かも知れんと玄人筋は語つて居た

京城穀物

前場延取引

玄米

初會安の餘勢を受けて今朝は更に人氣不勢に傾きしか眼先期米の反動氣分ありて買方の利食ひ急ぎと新規突込賣の壓成にて期す步みの如く下趨り一面安値は相當買物潛める模樣なれば底意手堅く眼先商內を流へて活況を呈したり

步み

一月中限三〇、六〇算定 一月末限三〇、六〇算定

二月中限三〇、二四 二月末限三〇、二五 ▲出來高五〇〇石

正米現物

年末暗り中の下過ぎ氣分ありて荷主は一般に値頃買漁りの態度ある上精米筋買控への掛引にて常用口は自然買人の主張に屈し易く表面は地場上玄二十九圓並二十八圓二十錢の持合ひを唱へ居れるも實際に於ては之より三四十錢方の上値ならざれは手に入らざる模樣なり合格品は今朝平澤電報によれば乘りの二十九圓七十錢見當の安模樣なりしも地搦の氣高に下趨り卅九圓八十錢處の唱へなりしが太體が荷晃れの上に出廻り季節の關係もあり眼先頃の立直りは望難く玆地場高も畢竟一時の人氣作用に過ぎざるべしとて常用以外は更に進入なし

商大門廻穀

四五兩日の驛廻米は籾千七百五十八叺玄米千六百〇七叺白米八百十一叺なり

仁川正米

去る四日の正米初相場は三十一圓三

釜山正米

十錢より四十錢迄取引行はれ跡定期安に連れて三十圓九十錢に崩れしが今朝は買氣引立ず四五十錢安の三十圓五十錢にて取引行はれ跡丸マより角チ三等合格三十圓二十錢にて千叺許りの賣物を寄せしも買人なく結局三十圓に出來し尻下りの光景なり

群山正米 五六十錢安

內地期米軟弱に一般氣配弱し賣物多く爲めに五六十錢安へたるも移出筋に買物ありて結局混北三等穀良三十一圓二十錢同神十五錢處にて八千叺の商內大豆は正米に連れ軟弱にて三十錢安の十四圓四十五錢にて一千五百叺の商內ありたり(六日)

大邱正米

一月中限三十圓四十錢同末限四十五錢二月中限三十圓五十五錢同末限三十圓八十錢(六日)

二月中限三十圓七十五錢より六十錢(六日)

東京期米

	六日前場先限	六日後場先限
寄付	三六、五〇	三六、七〇
二節	三六、三一	三七、〇〇
三節	三五、一一	…
四節	三六、一〇	…
五節	三三、九〇	…

大阪期米

六日前場		六日後場
當寄	三六、四五	三六、七〇
止め	三六、七〇	三七、〇〇
中寄	三七、〇〇	…
止め	三七、〇〇	…
先寄	三六、九〇	…
一節	三七、〇〇	…
二節	三六、八〇	…
三節	三七、八〇	…
四節	三七、九〇	…
五節	三七、〇〇	…
六節	三六、九〇	…
七節	三七、二〇	…
八節	三七、〇九	…
九節	三七、〇九	…

よく燃えて保溫長く廉價でストーブ用の理想的燃料は撫順炭
撫順炭焚いてストーブ暖く芽出度いお正月を迎へませう
京城永樂町二丁目 特約店 西村商會 電話 龍山 五五八〇番
半噸以上卽時御配達申上ます

兵庫期米

下關期米

	六日前場	六日後場
寄付	三六、六一	三六、八〇
二節	三六、七二	…

各地期米

○六日前場

	寄	止め	寄付
常限	寄止	止め	寄付
中限	三五、〇〇	…	…
先限	三五、六〇	三五、六〇	…

大阪三品

○四日前場止め

東京	三七、二二	大阪	…
兵庫	…	下關	…
桑名	三五、九六	名古屋	三六、四〇
熊本	三六、三〇	金澤	三四、五〇

倫敦銀塊相場三十四片の二分の一 綿三十錢高

	○六日前場寄付	前場大引	○六日後場寄付	後場大引
一月限	二三六、一〇	二三六、〇〇	二三六、八〇	…
二月限	二三三、五〇	二三三、五〇	二三四、五〇	…
三月限	二三〇、八〇	二三〇、一〇	二三一、五〇	…
四月限	二三〇、八〇	二二九、五〇	二三一、一〇	…
五月限	二二八、一〇	二二八、一〇	二二九、八〇	…
六月限	二二六、八〇	二二六、八〇	二二八、〇〇	…

第八期決算報告 (自大正十年五月一日至大正十年十月卅一日)

貸借對照表

貸方		借方	
資本金	[illegible]	未拂込資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]	固定財産	[illegible]
別途積立金	[illegible]	原料	[illegible]
職工積立金	[illegible]	工業用品	[illegible]
借入金	[illegible]	製品及半製品	[illegible]
支拂手形	[illegible]	有價證券	[illegible]
未拂金	[illegible]	貸付金	[illegible]
假受金	[illegible]	三菱合資會社預金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]	支店勘定	[illegible]
當期利益金	[illegible]	假拂金	[illegible]
		未收入金	[illegible]
		受取手形	[illegible]
		銀行預金	[illegible]
		現金	[illegible]
合計	[illegible]	合計	[illegible]

右之通り候也

大正十年十一月

東京市麴町區八重洲町一ノ一

三菱製鐵株式會社

取締役會長	武田秀雄
常務取締役	坂田貞[illegible]
取締役	岩崎小彌太
同	木村久壽彌太
同	江口定條
同	三宅川百太郎
同	三好重道
同	江崎[illegible]
監査役	串田萬藏
同	木村[illegible]

右監査役木村[illegible]任期滿了の處再選就任す

月やく
月經の經球は一番信用のある専門藥の經球月經不良及困難に效能確實なり他の藥にて効なく頭痛引の方は試用あれ
經球六十錢一圓二十錢送料十二錢五錢
設計書は返信料添申込あれ直に送付す
東京市四谷區傳馬町 森田屋本店 振替東京五二六二五番
大阪日本橋筋五丁目 森田屋支店
經球代理店 釜山辨天町 瀨田藥舖

謹賀新年
仁川仲町 正月屋 電話六二七番
仁〇京町 日向 チトセヤ
仁川仲町 日下部支店 電話六五六番
仁川驛 貨物主任 福田廣吉
仁川寺町 花月堂

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目電話一一二〇番

一昨夜失火の際は早速御馳せ付け被下多大の御盡力に預りました段深く御禮申上候實は一々御伺の上御禮申上ぐべきが本意なれ共混雜中不取敢紙上を以て御禮申上候

一月 平壤旭町 華項女學院

緩和下劑 ラキサトール
LAXATOL LAXATOL ルートサキラ Iso-Valeryl-Phenolphthalein
一般便秘症特に常習性便秘症に適當の下劑なり。
用量頗る僅少……奏效確實……服用容易
而も副作用を有せす且つ習慣性を來すことなし。
全國知名の藥店にあり……說明書無代進呈
發賣元 大阪道修町 株式會社 塩野義商店 東京出張所 日本橋區本銀町三ノ九
269

事務所移轉廣告

今般弊社事務所を左記肩記の箇所に移轉致候に付此の段廣告候也

大正十一年一月七日

移轉先 京城黃金町二丁目一七五番地

東亞煙草株式會社 京城出張所

小說 浮草 (146)

入江新八 守田早苗畫

おぼろ夜（一）

朧月夜がおぼろげに郊外を照らしてゐた。まだ／＼早春の夜風は、本當の春の氣分を人の肌に感じさせはしなかつたが、それでも、もう月の光りが朧夜を想はせるやうな空氣を作つてあたりを込めてゐた。

彌代は、先生の云つた突然な言葉に驚いて、そのおぼろげな月の光りの下に先生の顏を見上げたが、先生は平氣な顏をして外方を向いてゐた。今云つた自分の言葉が、特に彌代に向つて云つたのではなくて、獨言を云つてるやうな顏だつた。恐らく彼自身、ゆくりなく、その過去を想ひ出して、斯うした技場のありしむかしを心に偲んだのであらう。……と彌代にも受取られた。

『先生……そんなこと仰しやるとをかしうございますわ。』

彌代は笑ひ乍ら云つた。

『さうかね。滑稽に聞こえるかね。』

『否え、滑稽なんてことはございませんけど……』

『イヤ、滑稽かも知れないね。併し僕は、何んだか、そんな氣がするね……むかし、あゝ、隨分むかしだ……僕だつて、斯んな頃に若い婦人を伴れて、丁度斯んな草茫の街の月の下を歩いたことがあるんだからね……それを僕は想ひ出したんだ……面白いもんだね。その時の記憶がはつきりと今僕の眼に映つて來たんだ……丁度その場景も人物も、今の此の現在の相のやうなんだ……唯、違つてるのは僕だ。僕自身だ……僕は其時は若かつたからね。……』

『先生はお幾年でいらつしやいましたの？』

『さう……幾年だつけな……今から二十年も前だから二十五六だつた……僕があの『夜』といふ處女作を書いた時だから……』

『私、先生の傑作集でその『夜』を讀みましたわ。』

『さうかね。丁度今夜のやうな晩の夜景を書いてあつたでせう……それから男と女……女は一寸今のあなたのやうな感じの女だつた……さうは思はないかね？』

『えゝ、さうでございますわ、その女主人公はみち子といふ名でございましたわ。』

『さう、さうだ。よく覺えてるね。』

『私が彌代でございませう。その女主人公はみち子でございませう。ですから私、よく覺えてゐましたの。』

『ふむ……ぢや、女主人公は、そつくりだな今のあなたに。……唯、僕が四十五六の老人になつといふことが二十年の歲月を經たといふ證據なんだなア……それから、今の女主人公には何等戀愛を意味する氣持が男に對して無いといふこと……此れが非常に違つてるね。』

『もつと、違つたことがあるぢやございませんの、先生……』

『何に、……場所かね。場所は、どうでも好いぢやないか。』

『否え、場所ではございませんのよ。先生御自身のお心持……ですの。』

『僕？僕の心持、ハヽ……僕にも戀の心を些つとも意味してゐないつていふのかね。ハヽ……どうだかな……』

ケイ氏はさう云つて聲を出して笑つたが、自分での心に恥かしいやうな苦笑をまぎらす聲であるとを感じてゐた。さうして、彼はお茶を濁すやうに

『隨分、脇路を云つたな……若い淑女の前で……ハヽ……』

彌代は默つてゐた。その聲が寂しく聞えて、先生の獨身生活が堪らなく氣の毒なやうに感じられた。それで、彼女は先生の方へ思はず寄り添ふやうにして歩いた。

其時、彼等の後を追ふやうに後を隨いて來る一人の青年、それは顯栗太郎だつた。彼は偶然道代の姿を見たのだ、彼はまた何處かで逢ふともあるだらう、と思つてゐた彌代を偶然發見したので、心が躍つた。そしてその姿を見失はないやうに後をつけてゐたのである。

最新式機械完備 製造力豐富
紙函 丸喜商會
京城本町四丁目 電話二五三七番

短歌 尾上柴舟選

○明けぬれげくれのどよめき跡もなく初陽のどけき新春の街 京城 平野尚徐

○また一つ年取りしかとひげの無きほゝをなでゝほゝ笑める父 京城 民郎

○美しき少女ら羽根を突きやまず都小路の初春の街 鎭南浦 大黒鶏月

○漂浪の兄も一座にかへり居て雪降る家に屠蘇溫かき 綠溪 高島梅竹

○朝の陽のゆるく流るゝ濱の枝に小鳥二三羽歌してありぬ 京城 靜子

○松飾る舟の帆柱影長かく日照る港の波にうつれる 新義州 田島治右衛門

○社よりみおろす海の船はみな揚げ旗へす日穏かかな 京城 栗山美枝子

○滿ちのぼる新潮につれ流氷のふたたび川を溯る靜けさ 群山 門田瀰鑒

○いと小さき生をいとなむおさな兒につよき明るき春の日めぐむ 義州 秋田翠溪

短歌募集

課題『刀』『雪』
選者 尾上柴舟先生
賞金 天位一圓
締切 一月十日
詠草 一人五首、用紙は葉書
宛名 京城日報社文藝係

京城明治町 電話本局三四〇
產科婦人科
中央婦人病院
院長 衣笠舜山

俳句 內藤鳴雪選

初刷

○初刷や鉢卷しめて祝酒 仁川 伊藤孝
○初刷の瑞氣に滿てり京の朝 京城 小野寺樂天
○初刷の音も床しや輪轉機 京城 柳窓燕友
○初刷や紙は二萬八千枚 京城 江上清
○初刷や挿繪に兒等の嬉々として 淸州 岡本三峰
○初刷や今日は寛子の孜子顏 京城 古澤綠泉
○初刷を擲る夜春の寒さかな 京城 田中際之助
○初刷や改まりたる新活字 晉州 黑犬兒
○初刷の窯し込み切れぬ小箱哉 龍山 黑澤文呂太
○坐に就けば初刷も見る御慶かな 井邑 松本紅潮
○初刷や神代も說きてありがたき 東京 麗木樂山
○初刷を前に衣紋の主人かな 濟州島 加藤巴川
○一年の計を旦の初刷す 大邱 室山花浪
○初刷を手に捧げたる笑顏かな 國州 佐村信平
○初刷や賑しやかに鼠も云ふ 永登浦 福田こうろく
○初刷に酒嗅ぎ顏集ひけり 安州 松本木公子
○初刷の繪を貼り附ける茶の間哉 京城 岡村朧茶丸
○初刷と思へば嬉し明くる朝 大田 井上愛秋
○鮮かに初刷の色や今朝の空 京城 市丸宜人
○初刷を配る元氣な男かな 京城 鎌田春陽
○初刷の御題かしこし繪に鮮に 京城 玄魚

川柳 井上劍花坊選

戀

○家持つて漸やく戀のけりがつき 本町 恩翠
○鐵窓に戀を悔みの涙あり 仁川 吐焔
○戀女房毎日髮の型を變へ 大邱 德磨
○戀の味などは知らずに母に成り 北青 珍山
○戀をしたあともどゝめず錢ばかり 鎭南 盜捕使
○姫君の戀の手ほどき醫生なり 京城 水隣
○失戀の悶え悲しい獸になり 京城 子
○其初め戀とは知らず戀をする 京城 俊
○戀を知り浮世を知つて人に成り 鹽北 豆人
○艶文を握つたまんま息が絶え 釜山 二浦右衛門
○戀故にこんな浮世のあるを知り 京城 不知人
○戀愛をたがいはする戀の道 花洞 鋤蛙

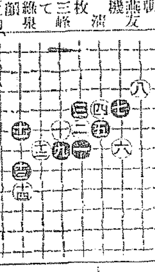
寄贈雜誌

▲職業紹介時報(十二月中旬號) 東京麹町有樂町一ノ一財團法人協調會內、中央職業紹介局定價十錢
▲中央法律新報(一月一日號) 東京麹町有樂町一ノ三其社定價二十錢
▲電氣旬報(十二月下旬號) 大阪北區若松町二六電界社定價六錢
▲內鮮女學生(創刊號) 東洋文化の燦爛たる花の舞臺に活躍すべき內鮮人女流の温かき握手を齎み出すを目的として創刊されたとの事で文章、詩歌を滿載してある、發行所京城黃金町三ノ二半島文學社定價四十錢
▲朝鮮齒學會雜誌(第十回總會誌) 朝鮮總督府醫院構內朝鮮齒科醫學會非賣品
▲朝鮮警察新聞(一週年記念號) 京城南米倉町二〇五其社定價十五錢
▲禁酒之日本(十一月號) 東京神田表猿樂町一〇日本國民禁酒同盟會本部定價二十錢
▲東亞法政新聞(十二月十五日號) 京城明治町二ノ四其社定價二十錢
▲滿蒙經濟時報(十一月號) 滿洲奉天加茂町奉天商業會議所定價五十錢
▲東洋皮革新誌(十一月號) 大阪東區內淡路町二ノ七七其社定價二十五錢
▲日の丸(新年號) 東京澁谷文教社特價三十錢
▲闘鷄集(十二月號) 東京麻布仲之町一一闘鷄吟社定價五十錢
▲朝鮮實業倶樂部會報(十二月號) 京城長谷川町一二一朝鮮實業倶樂部
▲愛の友(新年號) 東京澁谷エビス文教社特價三十錢
▲大鵬(新年號) 東京芝濱佐久間町一ノ三拓殖新報社特價六十錢
▲市町村雜誌(十二月號) 東京芝田村町六其社定價二十錢
▲慶尚北道統計(大正十年度刊行) 慶尚北道府

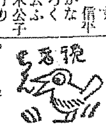
聯珠檢勝案 第十四回課題

出題者 高橋紫玄

十五よりの追詰勝を示せ



△變化(白の防ぎ手の變りたるもの)に對する勝方)を圖示又は說明する事
△追詰とは三追手四追手又は是等と同等の効力を有する含み追手を連續して勝に達するを言ふ
△黑一は盤の中央
△締切 一月二十日
△宛名 釜山浦三號中社宅三二 高橋紫玄
△賞品 一等聯珠新報四ヶ月分二等以下五等迄同一ヶ月分



▲私の友人の要君が病牀に就き主人は乳呑兒を抱て難儀してゐますがどなたか至急親切な加勢人を世話して下さいませんか(社內吉田)▲此の節の小家主は家が拂底せるに乘じ店子を困らせ思ひ切つた家賃の値上をなし否ならば家をあけよと云ふ他に借家がないので不當の家賃を出して居るが之に對し適當なる法律が欲しい(借家人)▲小倉商業出身の吉田龍藏さんの御住所をお知りの方はすみませんが本欄まで御知らせ下さい(三越內櫛友ナ一生)▲遞信の者男三十四歲、本年電車にて左足を怪我し步行不自由です住込みにて何か相當の仕事に使つて下さいませんか手先は器用です(願生)▲龍山の坂本登雄君、仁川の川手鐵雨氏の住所一報あれ(京城虛象詩社)▲元町二丁目の不良の女(姓名は特に秘すが再度ある時は明かにする)は人の名前を騙つて電話をかけたりする以後謹め(町內の迷惑生)

汽車時刻

京釜線 / 同 / 湖南線 / 京元線 / 平南線 [illegible]

謹賀新年

ライジングサン石油株式會社 日本石油株式會社特約店
立石良雄商店 釜山埋立新町 電話五三九番 振替京城四五八五番
同 蠟燭工場 釜山富平町四丁目 電話一二五番

東洋拓殖株式會社 釜山支店

釜山煙草元賣捌株式會社

釜山商業會議所會頭 香椎源太郎

釜山府港內 香椎漁業事務所

釜山本町二丁目 貿易商 大正商會 釜山出張所 電話長三二七〇四番

釜山辨天町 大池忠助

釜山辨天町 大池本店

釜山埋立新町 大池營業所

海運業 釜山大倉町 澤山兄弟商會 電話長七五〇番

朝鮮銀行釜山支店
朝鮮殖產銀行釜山支店
第一銀行釜山支店
百三十銀行釜山支店
十八銀行釜山支店
釜山商業銀行
漢城銀行釜山支店
慶南銀行

釜山 朝鮮紡織株式會社 電話長九〇二番

釜山埋立新町 福榮商會卸部 電話一〇八一、八九八、九九四番
釜山辨天町 福榮商會小賣部 電話三三八、一二一番
大邱本町一丁目 福榮商會大邱支店 電話大邱六四九番

鎭海 松尾重信

馬山 南朝鮮鐵道株式會社

統營港數島町 米穀商 福島彌市良 電話一三番
統營吉野町 福島精米所 電話二二番

統營海運株式會社

統營劇場株式會社 蓬萊座

統營鷺町 藤光卯作 電話五〇番

統營吉野町 米穀貿易 服部源次郎 電話八番

統營海產株式會社

統營數島町 綿糸布雜貨 原田綱治 電話九番

統營煙草元賣捌所

統營數島町 鮮人雜貨商 陶山美賀藏商店 電話一〇番

統營製網株式會社

釜山水產株式會社統營支店 電話一一番

統營漆工株式會社

釜山本町二 迫間房太郎

スタンダード石油會社 上松鉢 釜山米油組合 電話長四一番

大日本麥酒釜山販賣組合

釜山鹽業組合
(イロハ順)
林兼商會製鹽部
淡盛製鹽所
福田製鹽所
許斐支店鹽業部
荒石組製鹽所
笹屋製鹽所
三好製鹽所
白石製鹽所
東製鹽所
鈴木商店鹽業部

釜山移入酒類商組合
(イロハ順)
二宮酒店
本嘉納釜山支店
大塚釜山支店
河谷釜山支店
田熊釜山支店
永武酒店
上西酒店
栗山酒店
山邑酒造株式會社釜山支店
あづまや商店

釜山銘酒釀造組合
原田釀造場
西山釀造場
堀兄弟釀造場
竹鶴釀造場
辻釀造場
山內釀造場
安河內釀造場
丸金釀造場
松岡釀造場
向陽 福田釀造場

釜山石炭商同業組合
(イロハ順)
大池商店石炭部
大野石炭商店
山上石炭商店
藤崎石炭商店
合資會社越田商店
朝日商會
佐治商會
澤山兄弟商會石炭部
三井物產會社派出員
三國商會出張所
江頭秀平商店

鈴木商店 釜山出張員

サクラ麥酒 釜山販賣組合

綿糸布商 釜山本町 高瀨合名會社

漁業並運搬業 林兼商店 店主 中部幾次郎
海產物運輸 米穀 釜山南濱町一丁目 林兼釜山出張所

久原鑛業株式會社 統營鑛業事務所

朝鮮殖產銀行統營支店
釜山商業銀行統營支店

馬山本町一丁目 貿易商 目賀田商會 電話一〇一番

馬山 馬山煙草元賣捌所

馬山柳町 清水酒造所 電話一〇七番

晉州 和洋雜貨 日韓商會 電話一八番 清水佐太郎

晉州煙草元賣捌所
晉州電氣株式會社
晉州精米株式會社
晉州土地建物株式會社

晉州自動車株式會社

土木建築請負 晉州 竹本組 電話一二〇番